豊山町社会教育センター長寿命化計画

令和元年１２月

豊　　山　　町

目　　次

１　基本事項
（１）計画の目的と位置づけ　----------　１
（２）計画期間　----------　１
（３）対象施設　----------　２
２　施設の概要
（１）対象施設の位置　----------　２
（２）敷地　----------　２
（３）建物概要　----------　２
３　施設の老朽化状況の把握・評価・分析
（１）長寿命化改善の目的　----------　２
（２）現況図　----------　３
ア　意匠図
イ　設備図
（３）現況調査結果及び分析　----------２０
ア　躯体　----------２０
（ア）コンクリートコア抜き取り調査
（イ）コンクリート躯体はつりによる鉄筋かぶり厚・腐食度調査
イ　外装・屋上防水　----------２１
（ア）外装
（イ）屋上防水
ウ　普通施設　----------２２
（ア）事務室
（イ）応接室
（ウ）研修室１・２
（エ）選手審判控室
（オ）実習室
（カ）男女更衣室
（キ）ミーティングルーム
（ク）遊戯室
エ　特別施設　----------２９
（ア）アリーナ
ａ　内装
ｂ　照明設備

ｃ　運動設備
ｄ　音響・放送設備
（イ）ホール
ａ　内装
ｂ　照明設備
ｃ　音響・放送設備
ｄ　舞台装置・舞台照明設備
ｅ　控室
（ウ）和室・茶室
（エ）図書室
（オ）料理教室
（カ）視聴覚室
オ　共有施設　----------４１
（ア）トイレ
（イ）階段
（ウ）廊下等交通部分
（エ）エントランス
カ　照明設備　----------４５
キ　給排水衛生設備　----------４５
（ア）給水管調査
（イ）排水管調査
（ウ）衛生器具
（エ）浄化槽設備
ク　電気設備　----------４７
（ア）受変電設備
（イ）自家発電設備
（ウ）非常用蓄電池設備
（エ）自動火災報知設備
ケ　機械設備　----------４９
（ア）昇降機設備
（イ）空調設備
４　計画条件
（１）関係法令と手続き　----------５０
ア　耐久性向上関連
（ア）浄化槽法

イ　耐震性向上関連
（ア）建築基準法
ウ　バリアフリー対応状況調査関連
（ア）高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
（イ）愛知県　人にやさしい街づくりの推進に関する条例
エ　省エネ対策調査関連
（ア）建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
オ　サービス向上調査関連
（ア）建築基準法
（イ）愛知県建築基準条例
５　改修計画の検討
（１）躯体　----------５２
（２）外装・屋上防水　----------５２
ア　外装
イ　屋上防水
（ア）鋼製の空調室外機架台等
（イ）トップライト
（３）普通施設　----------５３
ア　事務室
イ　応接室
ウ　研修室１・２
エ　選手審判控室
オ　実習室
カ　男女更衣室
キ　ミーティングルーム
ク　遊戯室
（４）特別施設　----------５６
ア　アリーナ
（ア）内装
（イ）照明設備
（ウ）運動設備
（エ）音響・放送設備
（オ）空調設備
イ　ホール
（ア）内装

（イ）移動観客席
（ウ）照明設備
（エ）音響・放送設備
（オ）舞台装置・舞台照明設備
（カ）控室
ウ　和室・茶室
エ　図書室
オ　料理教室
カ　視聴覚室
（ア）音響設備
（５）共有施設　----------７０
ア　トイレ
イ　階段
ウ　廊下等交通部分
エ　エントランス
（６）照明設備　----------７５
（７）給排水衛生設備　----------７５
（８）電気設備　----------７５
ア　非常用電源設備
（９）機械設備　----------７８
ア　昇降機設備
イ　空調設備
６　改修に際しての利用者向上方策
７　実施計画
（１）仮設計画　----------８１
ア　現場事務所・資材置場の設置
イ　仮設間仕切・養生
ウ　休館日作業
エ　工事用電力・用水
（２）工程計画　----------８１
ア　工事工程計画表
イ　工程の留意事項
（ア）各室内装改修工事
（イ）特定天井改修工事
（ウ）トイレ改修工事

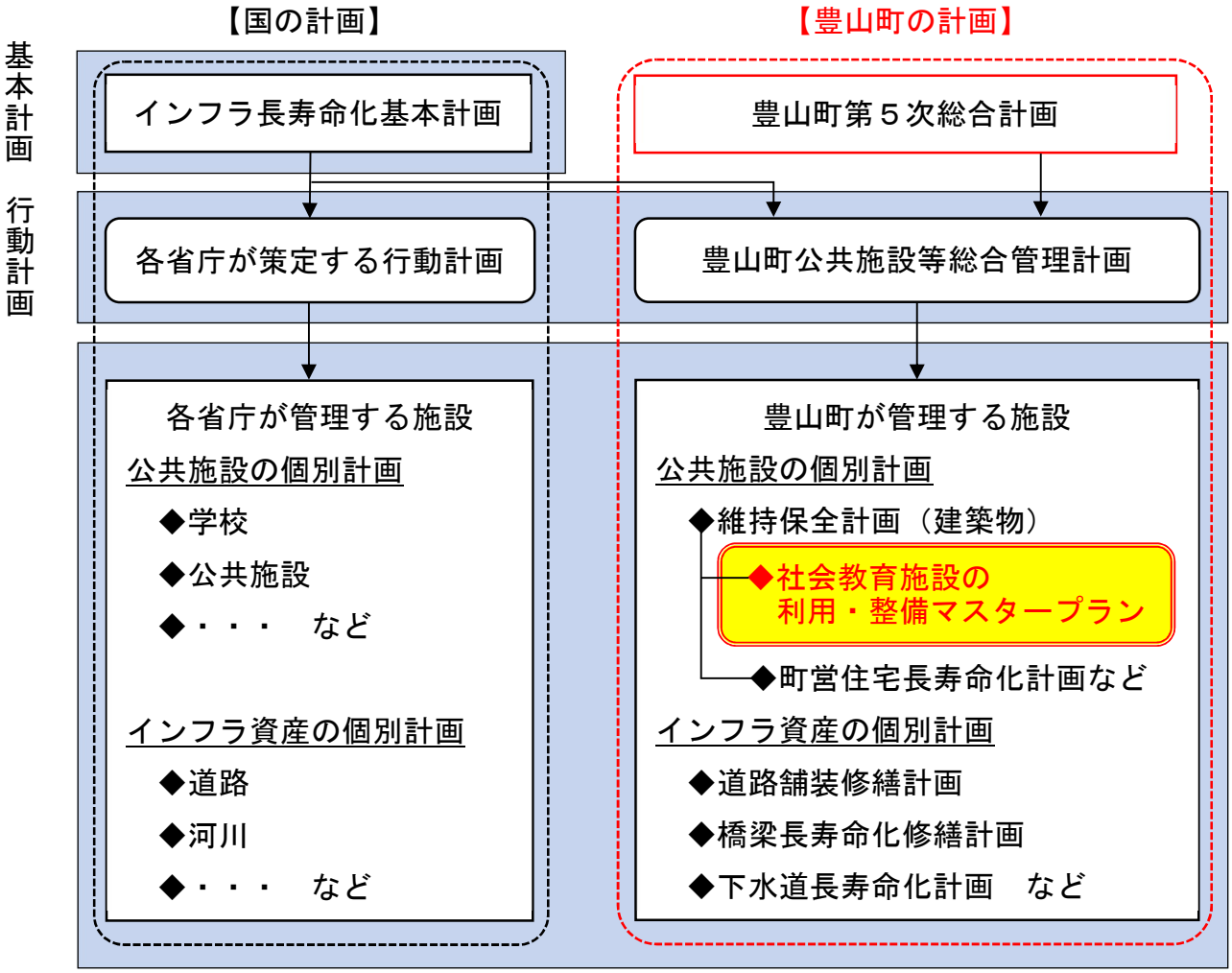
（エ）照明器具改修工事
（オ）図書室改修工事
（３）その他の検討事項 ----------８３
ア　各室内装改修工事
イ　屋上工事
ウ　太陽光発電設備工事
（４）概算工事費 ----------８３
ア　改修計画部ごとの概算工事費
イ　実施年度別の概算工事費
８　中期保全計画
（１）計画年数の設定 ----------８７
（２）基本情報の整理と保全台帳 ----------８８

１　基本事項

（１）計画の目的と位置づけ

本計画は、平成２９年３月に策定した「豊山町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取組み）を推進していくための社会教育施設に係る個別施設の具体的な対応方針を示したものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけます。



（２）計画期間

本計画の計画期間は、中長期的な視点が不可欠であることから、令和２年度（２０２０年度）から令和３１年度（２０４９年度）までの３０年間とします。また、

計画期間を１０年単位として３期に分けることとし、本計画はその第１期分と位置づけます。

なお、本計画に基づく老朽化と取り組みの状況を反映するために、概ね５年を目途に計画の見直しを行うものとします。

（３）対象施設

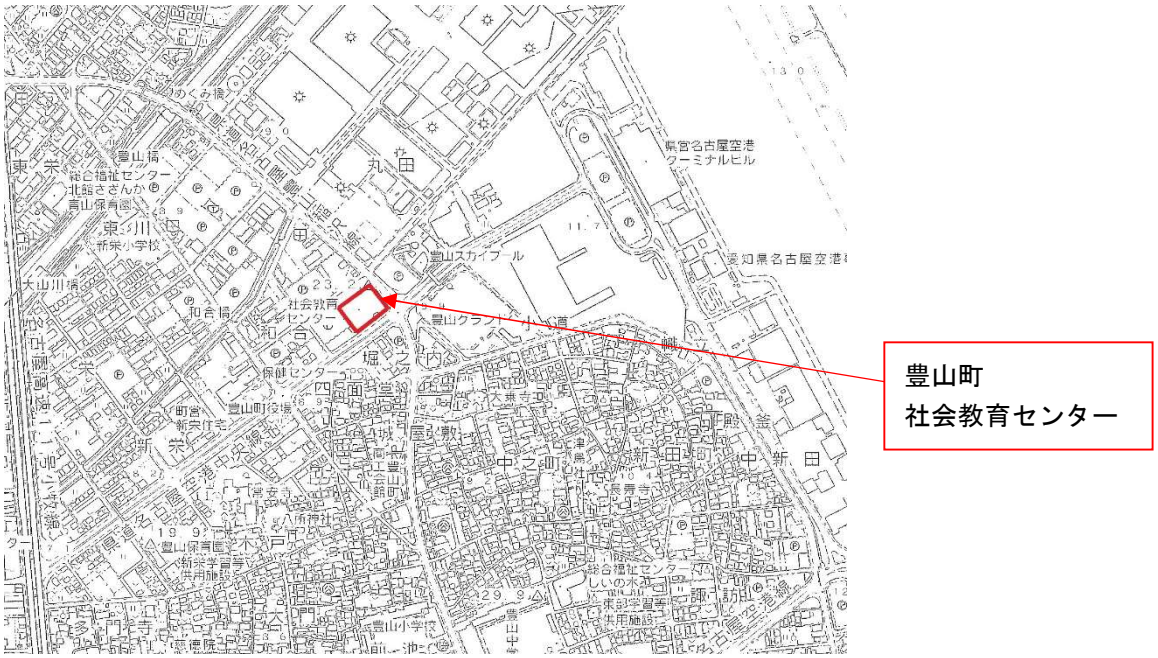
対象施設としては、以下の１施設とします。

施設名称　　豊山町社会教育センター

施設用途　　社会教育施設

２　施設の概要

（１）対象施設の位置



（２）敷地

所在地　　豊山町大字豊場字和合７２番地

用途地域　　第１種住居地域

敷地面積　　5,216.46 ㎡

（３）建物概要

鉄骨鉄筋コンクリート造　　３階建

延床面積　　6,763.67 ㎡

竣工年月　　昭和６３年３月

３　施設の老朽化状況の把握・評価・分析

（１）長寿命化改善の目的

豊山町社会教育センターは昭和６３年３月に竣工し、同年７月より社会教育施設

として供用を開始しました。したがって、建物、設備とも３１年以上経過しています。この間、小規模な施設・設備改修は行ってきましたが、大規模もしくは長寿命化を前提とした改修は行われていません。

このため、施設の老朽化は進行し、一方では生涯学習の重要性が高まり、公共施設への防災機能強化への期待、バリアフリー化、環境への対応など、公共施設全般にいえることですが、社会教育施設に対する多様なニーズはますます高まっています。

このようなニーズに対応するために、機能劣化の現状を調査し、建物の耐久性の向上や維持管理の容易性の向上、利用者の満足度向上等を達成するための効率的な改修を行うことにより、建物の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ることが必要となっています。

（２）現況図

ア　意匠図

（ア）　配置図・B1 階・1 階平面図

（イ）　2 階平面図

（ウ）　3 階平面図

（エ）　屋根伏図

（オ）　南・東立面図

（カ）　北・西立面図

（キ）　断面図

イ　設備図

（ア）　非常用自家発電設備図

（イ）　受変電設備姿図

（ウ）　受変電設備単線結線図

（エ）　幹線動力電灯設備系統図

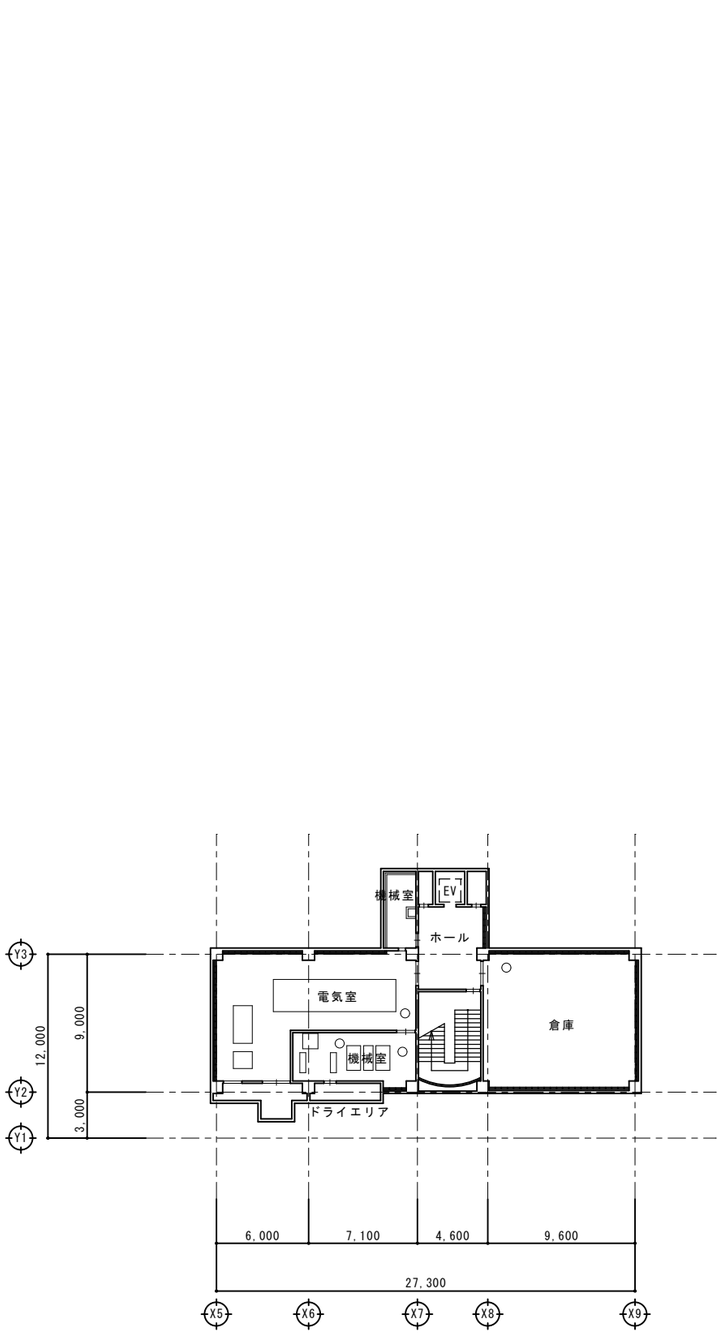
（オ）　弱電設備姿図

（カ）　給排水設備系統図

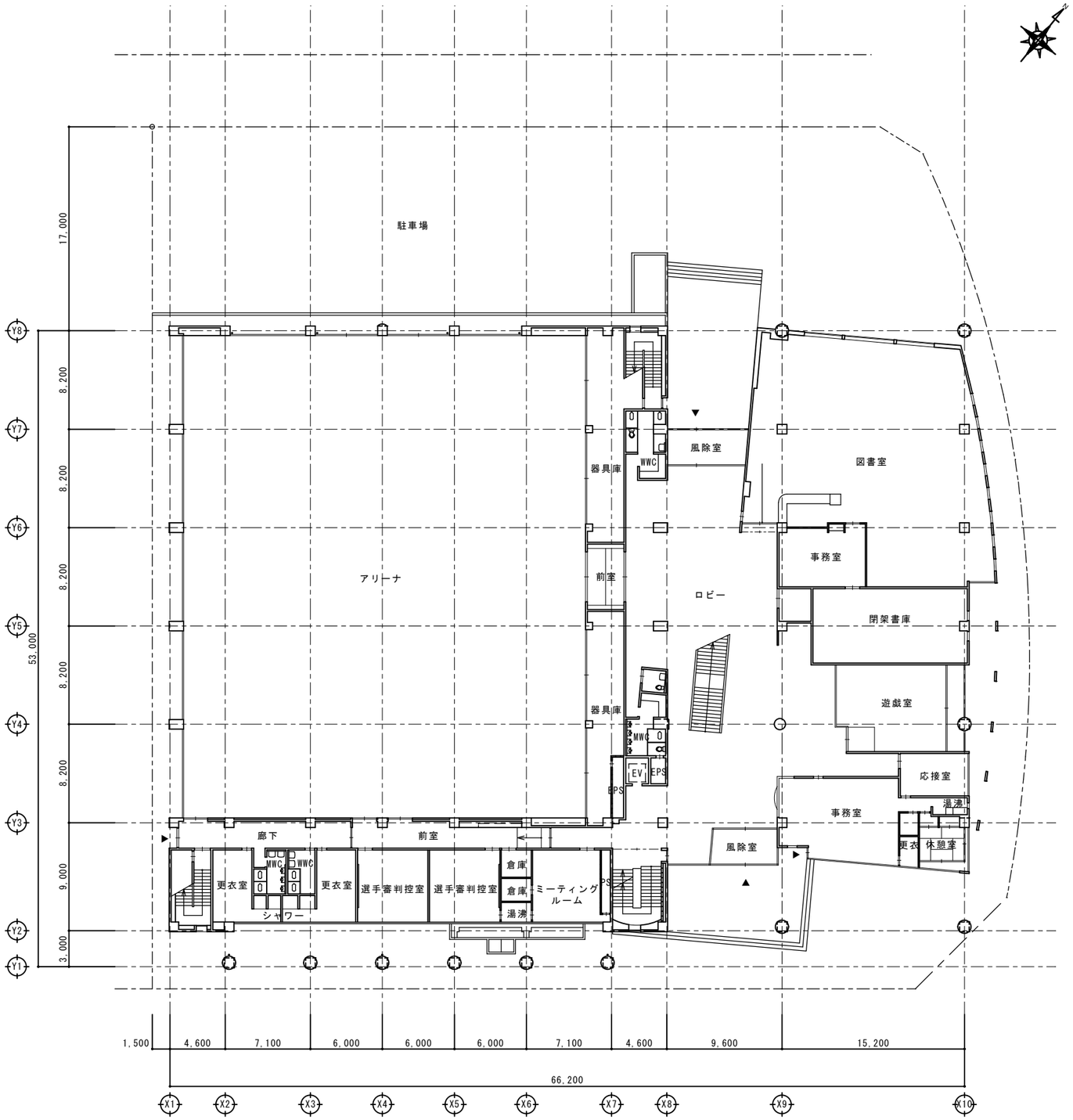
（キ）　器具表・機器表

（ク）　消火設備系統図

（ケ）　浄化槽設備図



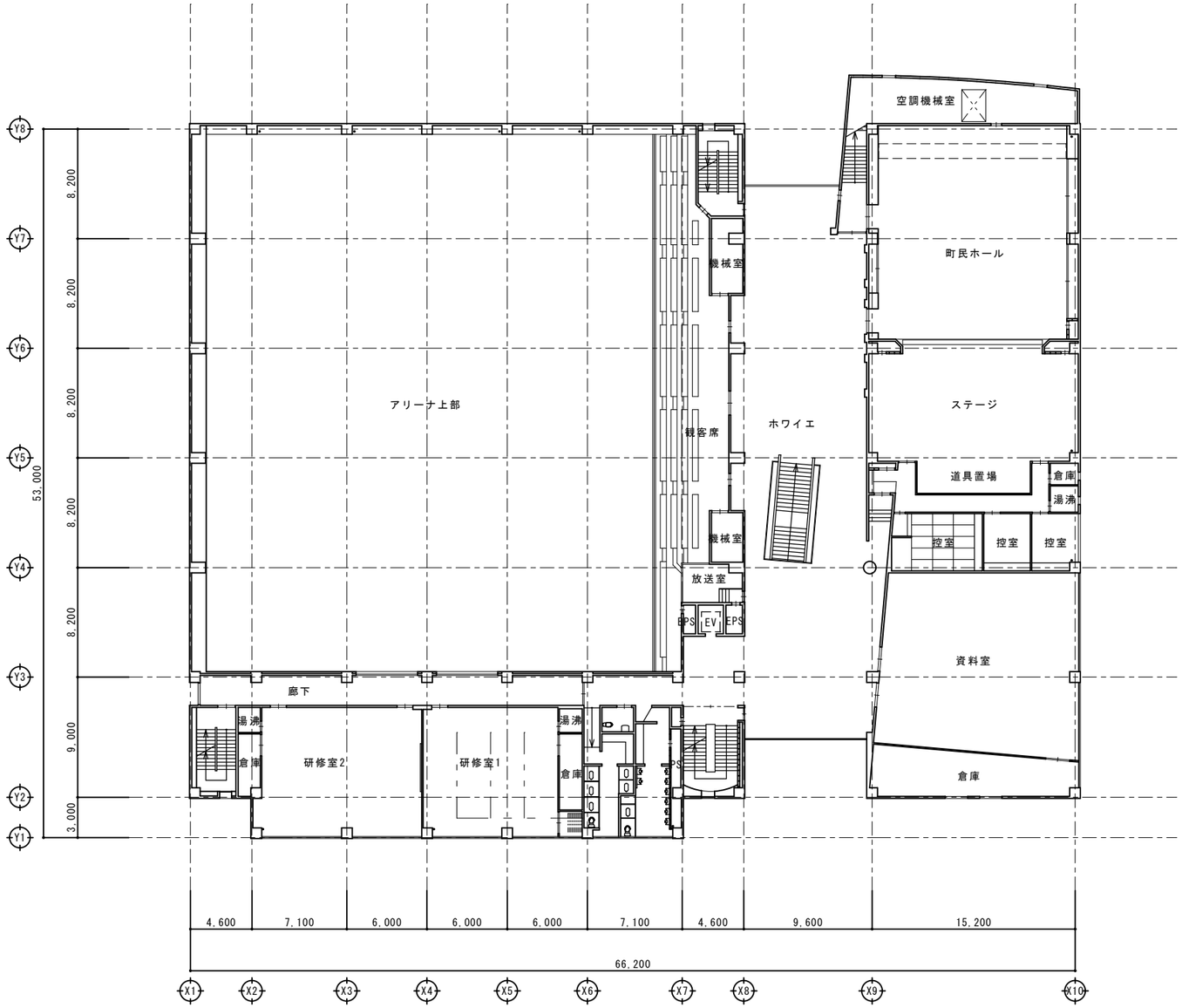
地下１階平面図　1/400



配置図・１階平面図　1/400

豊山町社会教育センター

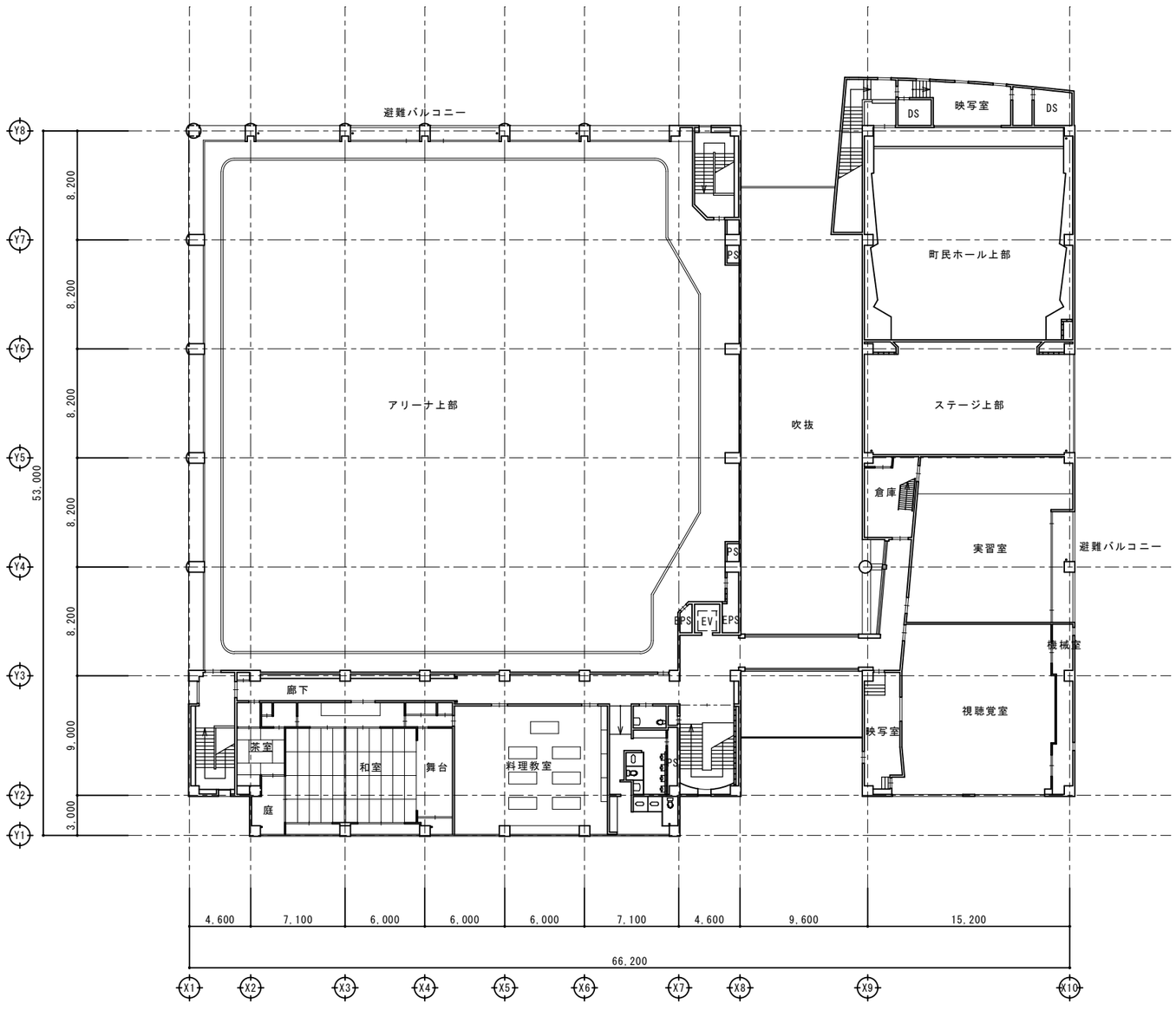
意匠図(ア)　配置図・B1階・1階平面図



2階平面図　1/400

豊山町社会教育センター

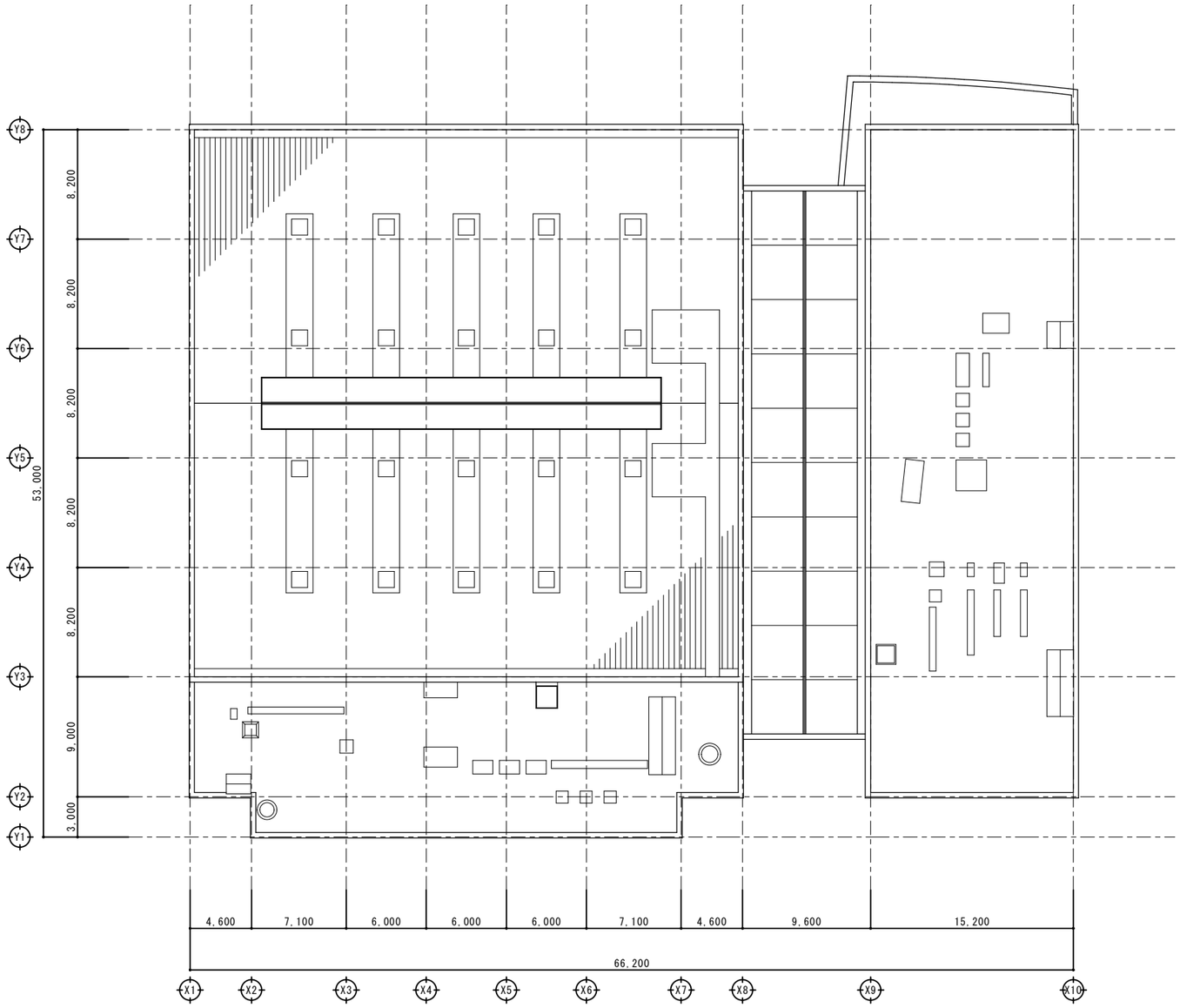
意匠図(イ)　2階平面図



3階平面図　1/400

豊山町社会教育センター

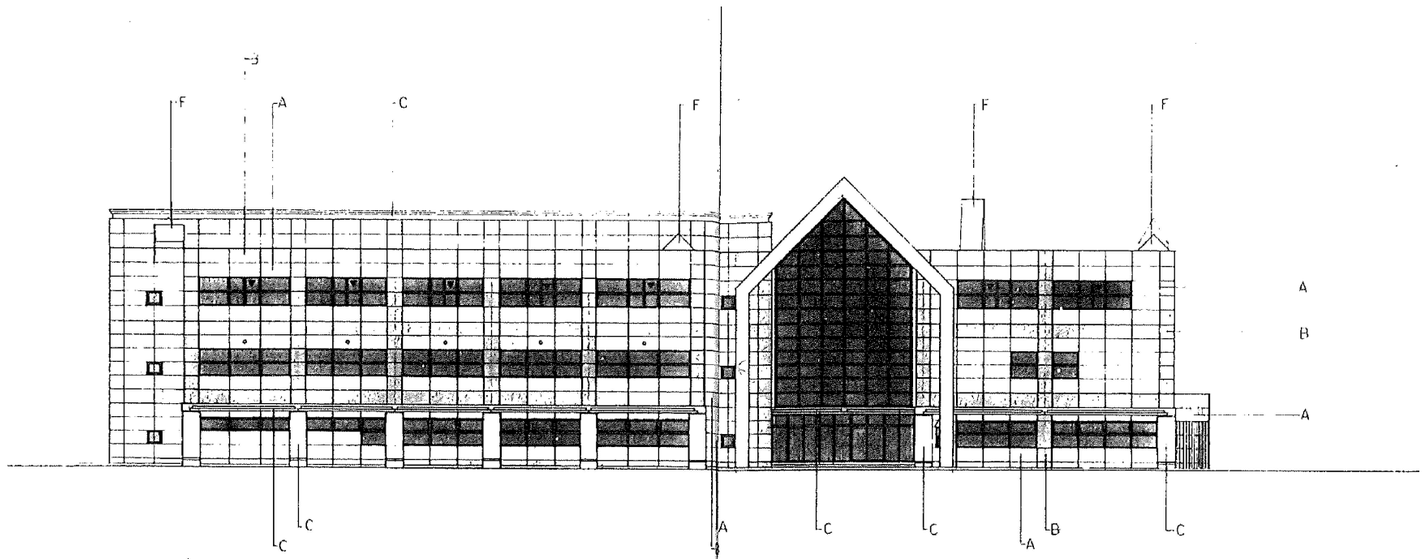
意匠図(ウ)　3階平面図



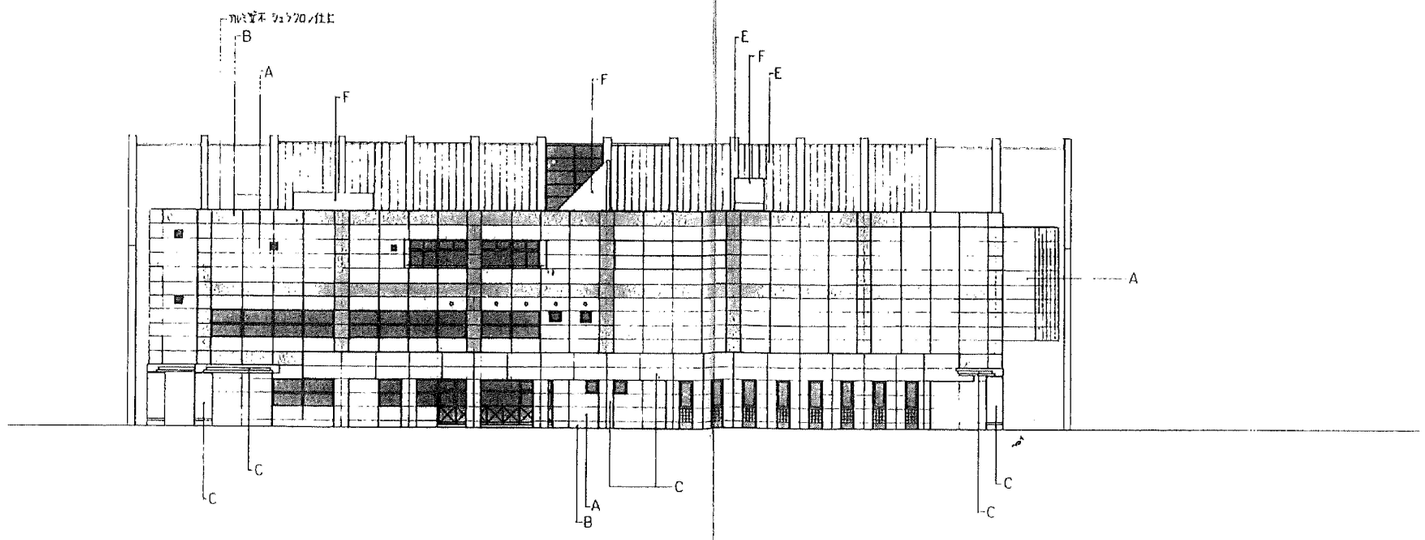
屋根伏図　1/400

豊山町社会教育センター

意匠図(エ)　屋根伏図



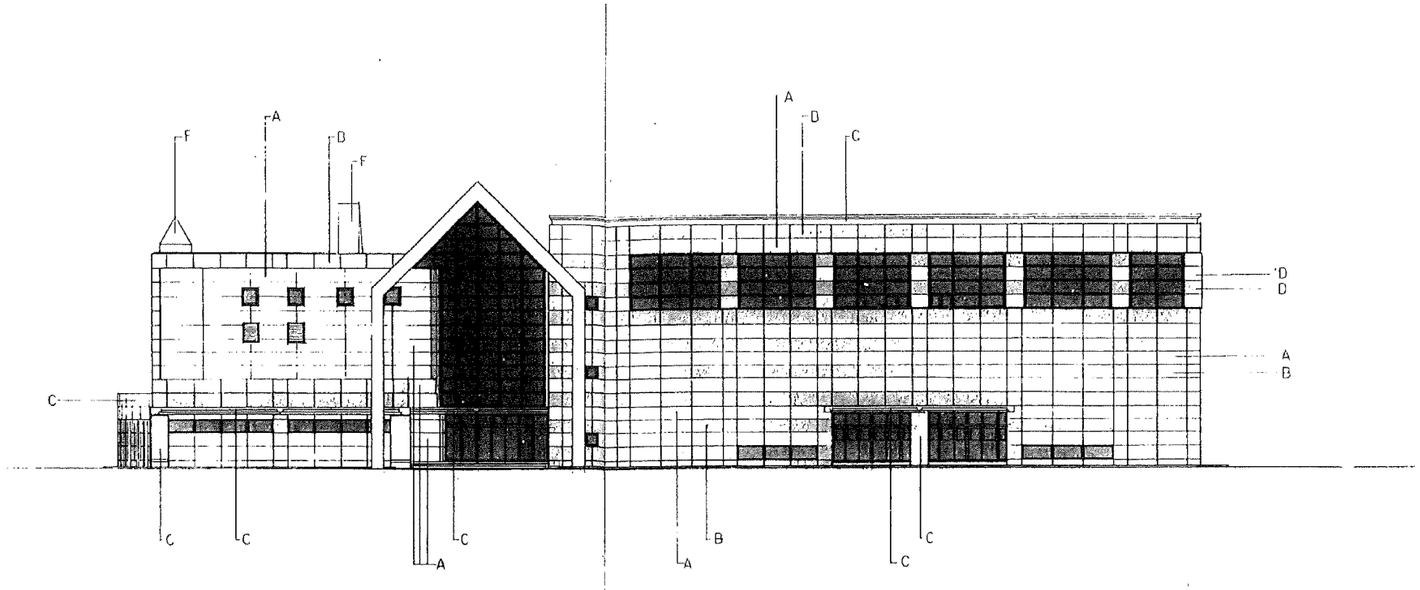
南立面図　SCL:200



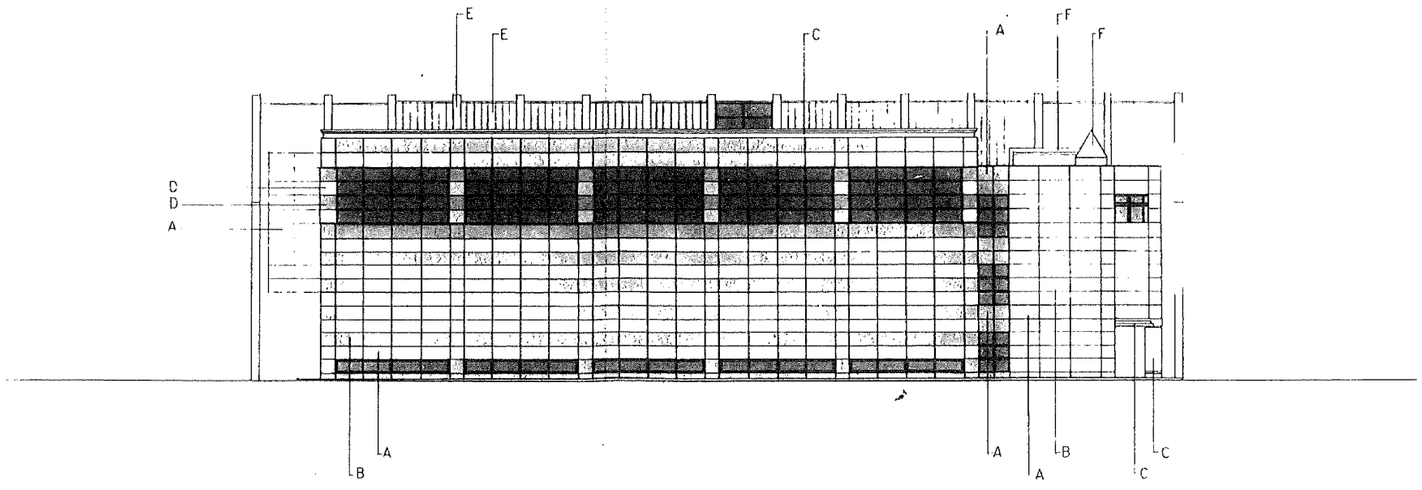
東立面図　SCL:200

豊山町社会教育センター

意匠図(オ)　南・東立面図



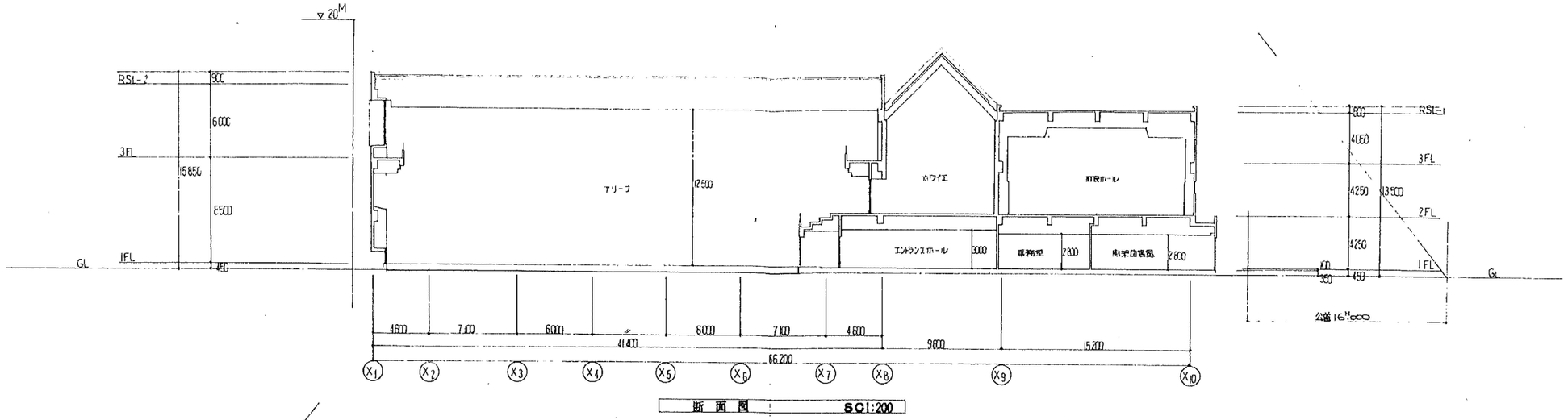
北立面図　SCI:200



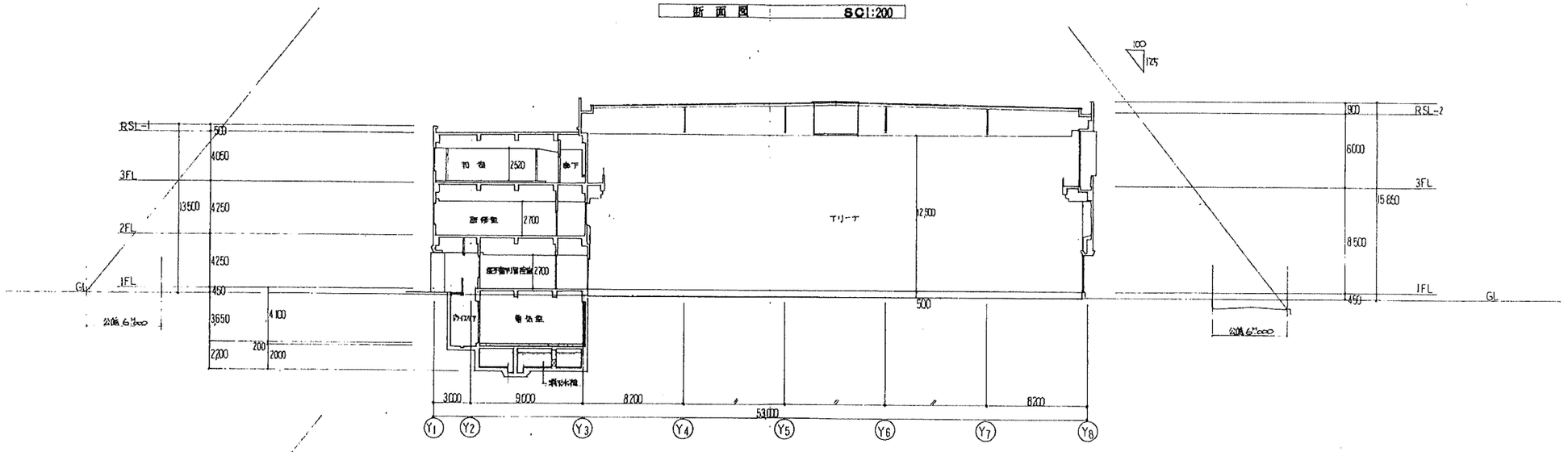
西立面図　SCI:200

豊山町社会教育センター

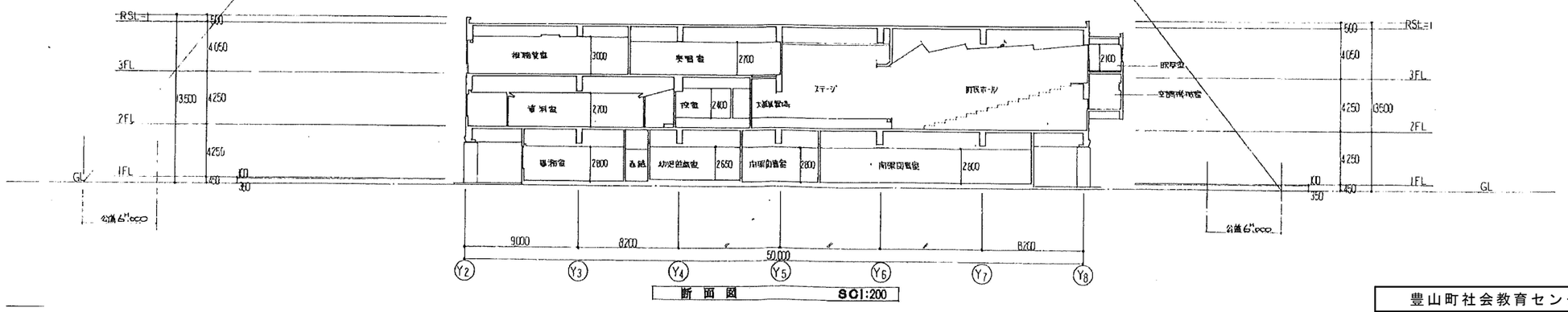
意匠図(力)　北・西立面図



断面図 SCI:200



断面図 SCI:200



断面図 SCI:200

豊山町社会教育センター

意匠図(キ) 断面図

非常用自家発電設備特記仕様

形　式		屋内キュービクル低騒音型，即時自動形
発電機	形　式	同期回転界磁形，開放浮鉄形
	出　力	80　KVA以上
	電　圧	415　V
	回転数	1500　RPM
	相　数	3相3線
	極　数	4　P
	力　率	0.8　遅れ
	励磁方式	静止自励式，自動電圧調整器付
	絶縁種類	F 種絶縁
ディーゼル機関	形　式	水冷4サイクル，直列
	出　力	100　PS
	回転数	1500　RPM
	排気量	3988　cc
	燃焼方式	渦流室式
	気筒数	6
	始動方式	セルモータ始動
	燃料種類	軽油
	燃料タンク	60 L　本体搭載
直流電源	蓄電池	完全密閉シール形鉛蓄電池　HS-E DC 24V 80AH
	充電装置	完全自動浮動方式
備　考	適合規格	内燃力発電設備協会認定品，消防法
	消音器	排気出口にて75dB 以下
	必要換気量	150 m³/min

発電機容量の検討

負荷名称	投入順位	始動方式	出力 KW	効　率	入力 KW	始動KW
排煙ファン	1	Y-S	5.5	0.9	6.1	17.6
消火栓ポンプ	1	Y-Δ	15	0.9	16.67	84
スプリンクラーポンプ	2	Y-Δ	18.5	0.9	20.56	117.27

$$PG_1 = \frac{P_L}{\eta_L \times PF_L} \times \alpha = \frac{39}{0.85 \times 0.8} \times 1.0 = 57.35 \quad KVA$$

$$PG_2 = P_H \times B \times C \times x'_d \times \frac{100 - \Delta V}{\Delta V}$$

$$= 205 \times 7 \times 0.67 \times 0.25 \times \frac{100 - 25}{25} = 72.10 \quad KVA$$

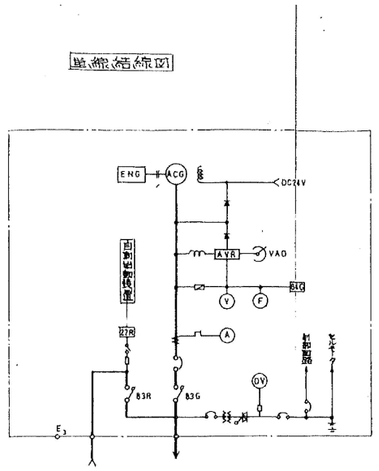
$$PG_3 = \left(\frac{P_L - P_H}{\eta_L} + P_H \times B \times C \times PF_3 \right) \times \frac{1}{\cos\phi}$$

$$= \left(\frac{39.0 - 18.5}{0.85} + 18.5 \times 7 \times 0.67 \times 0.4 \right) \times \frac{1}{0.8} = 73.53 \quad KVA$$

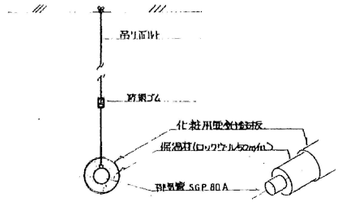
PG_1　全負荷定常運転時における発電容量
PG_2　負荷投入時の許容電圧降下による発電機容量
PG_3　最終負荷投入時のエンジン出力の発電機容量換算
P_L　負荷の出力合計
PF_L　負荷の総合力率
η_L　負荷の総合効率
x'_d　過渡特性
ΔV　許容電圧降下
P_H　最大始動KVA を有する電動機出力
$\cos\phi$　発電機定格力率
P_H　(始動KW－入力KW)の値が最大となる電動機又は電動機群の出力
PF_3　P_Hの電動機の始動時力率
α　負荷率
B　電動機の出力1KW当りの始動KVA
C　始動方式による係数

負荷の必要容量は，上記計算結果より 73.53 KVA である。
よって，本装置機容量は，80 KVA 以上とする。

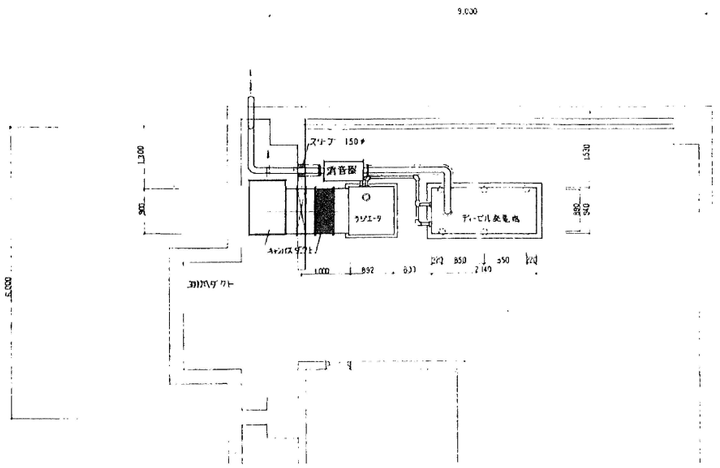
単線結線図

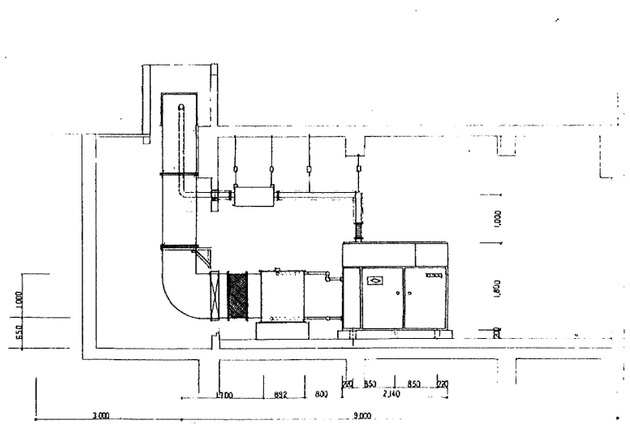


排気管詳細図



平面図



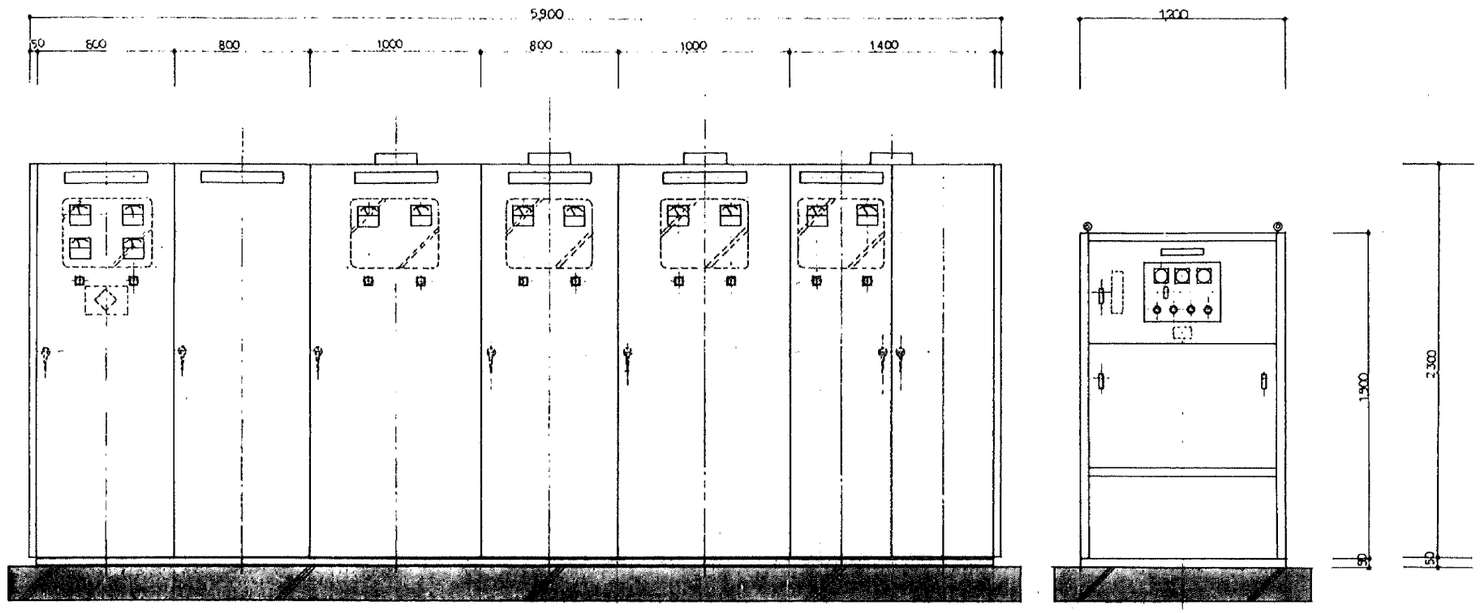


配管図(ア)

(注)
配管(ケーブル)引込口の位置は変更することもある。
基礎工事は本工事とする。

豊山町社会教育センター

設備図(ア)　非常用自家発電設備図

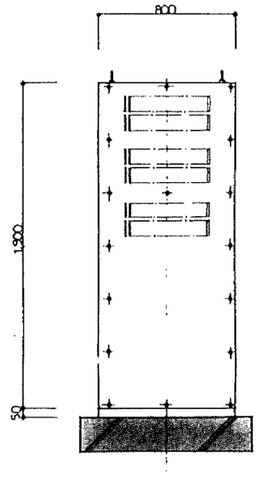


①	②	③	④	⑤	⑥
受変盤	コンデンサー盤	電灯盤	町民ホール調整盤	アリーナ電灯盤	動力盤(単独)

直流電源装置

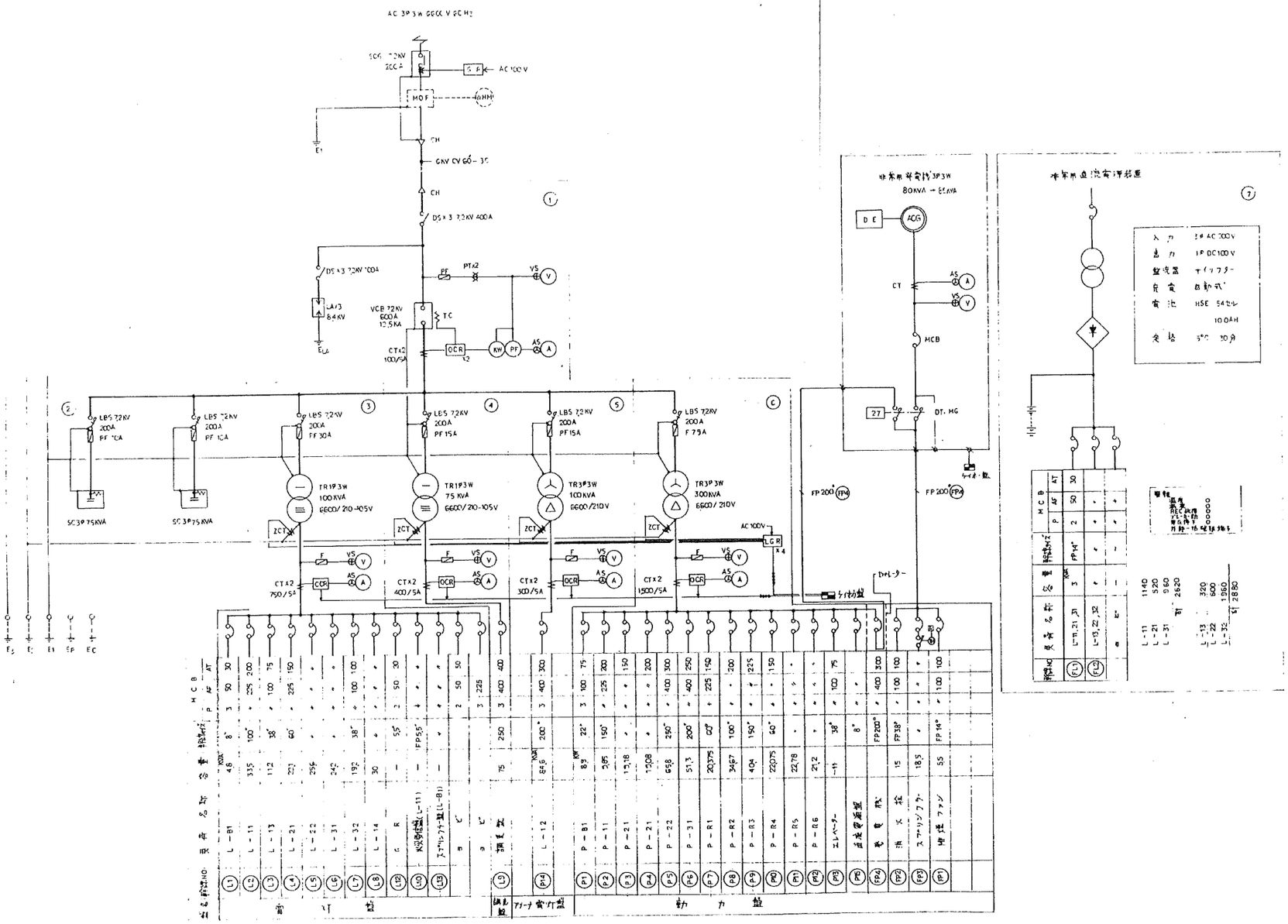
屋内キュービクル姿図

※図示数値は参考値とする。



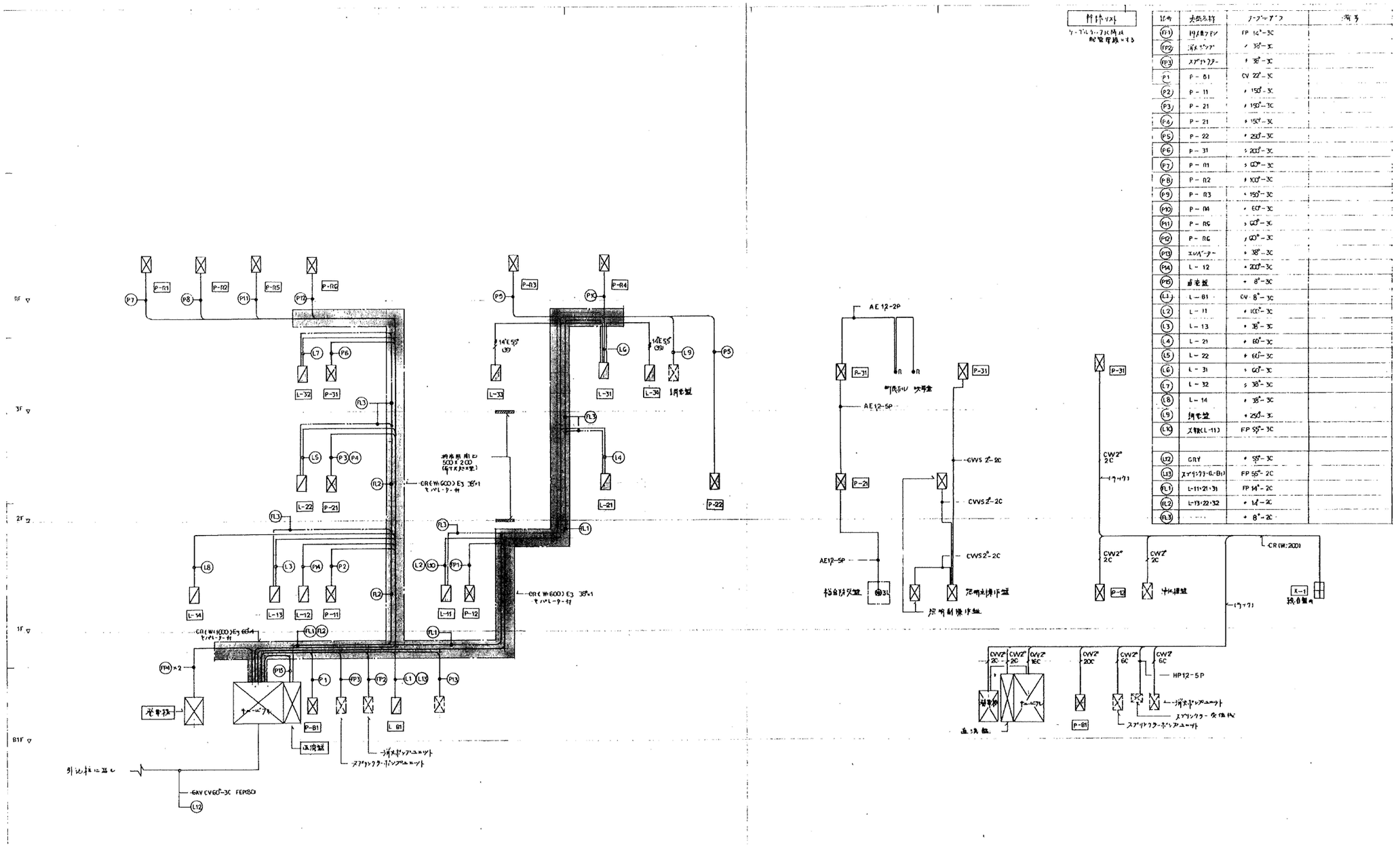
豊山町社会教育センター

設備図(イ)　受変電設備姿図



豊山町社会教育センター

設備図（ウ） 受変電設備単線結線図

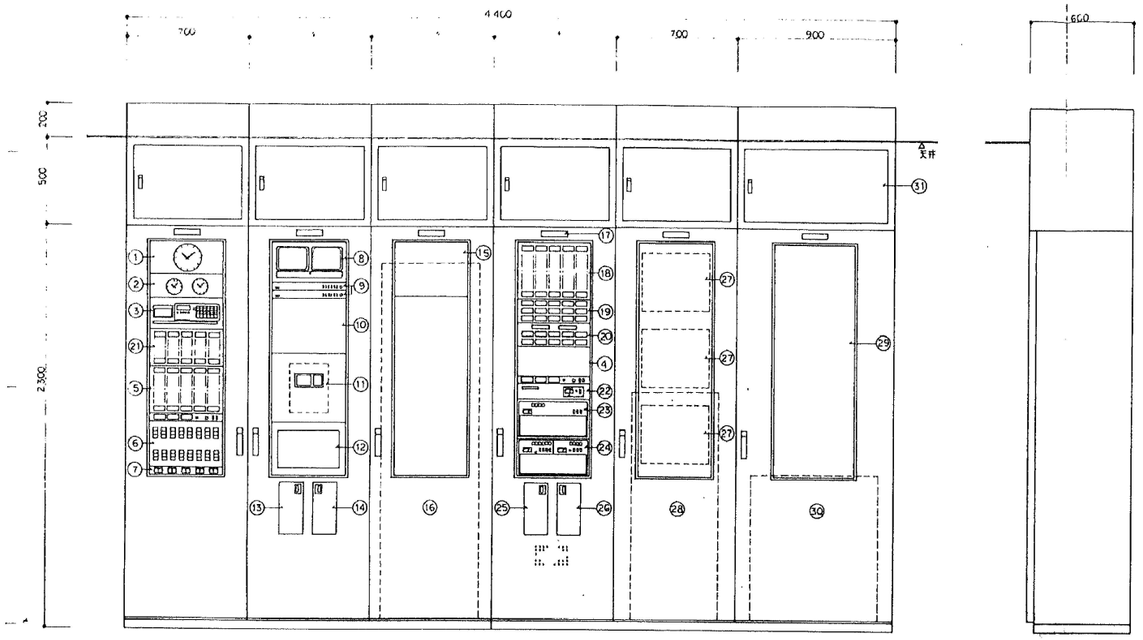


記号	名称及び符号	テーブルタップ	備考
FP1	閉鎖ケミン	FP 16²-3C	
FP2	ガスケンサ	〃 38²-3C	
FP3	スプリンクラー	〃 38²-3C	
P1	P-B1	CV 22²-3C	
P2	P-11	〃 150²-3C	
P3	P-21	〃 150²-3C	
P4	P-21	〃 150²-3C	
P5	P-22	〃 250²-3C	
P6	P-31	〃 200²-3C	
P7	P-R1	〃 60²-3C	
P8	P-R2	〃 100²-3C	
P9	P-R3	〃 150²-3C	
P10	P-R4	〃 60²-3C	
P11	P-R5	〃 60²-3C	
P12	P-R6	〃 60²-3C	
P13	エレベーター	〃 38²-3C	
P14	L-12	〃 200²-3C	
P15	自家盤	〃 8²-3C	
L1	L-B1	CV 8²-3C	
L2	L-11	〃 100²-3C	
L3	L-13	〃 38²-3C	
L4	L-21	〃 60²-3C	
L5	L-22	〃 60²-3C	
L6	L-31	〃 60²-3C	
L7	L-32	〃 38²-3C	
L8	L-14	〃 38²-3C	
L9	消防盤	〃 250²-3C	
L10	火報(L-11)	FP 55²-3C	
L12	GRV	〃 55²-3C	
L13	スプリンクラ-(L-B1)	FP 55²-2C	
FL1	L-11・21・31	FP 14²-2C	
FL2	L-13・22・32	〃 14²-2C	
FL3	・・・・	〃 8²-2C	

豊山町社会教育センター

設備図(エ)　幹線動力電灯設備系統図

放送設備姿図 N.S.



番号	名称	備考
1	モニター子時計	
2	2回路増幅器	
3	プログラムタイマ	カード式
4	ブランクパネル	
5	館警報灯	33L 操作部付
6	照明リモコン	48L
7	割込連絡操作	5L
8	ITVモニタテレビ	9インチ 2台
9	シーケンシャルスイッチャー	
10	ブランクパネル	
11	誘導灯信号装置	
12	身障者便所呼出装置	3L
13	インターホン	親機用
14	〃	ELV用
15	ブランクパネル	
16	防災アンプ	360W ロッカー型
17	自火報「火災」灯	
18	自火報地区灯	35L
19	防排煙地区灯	15L
20	ガス漏れ地区灯	10L
21	館表示灯	23L 操作部付
22	ガス漏れ警報器	
23	操作部	ガス漏れ
24	〃	自火報、防排煙
25	自火報警話器	
26	予備スペース	
27	空調換気操作盤	
28	MDF	100P + 保安器20P (T-11)
29	警報保障盤	
30	電話主装置	24/64
31	ダクト	自付 (T-11 6点込み)

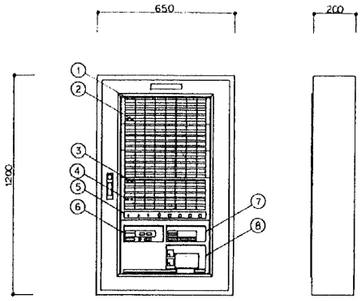
館警報リスト	
キュービクル (OCx4, GRx4)	8
発電機 (起動, 故障)	2
蓄電池 (故障)	1
消水ポンプ (故障, 満水)	2
受水槽 (満水, 減水)	2
雨排水ポンプ (故障, 満水)	2
加圧給水ユニット (故障)	1
浄化槽 (〃)	1
P-11 (〃)	1
P-31 (〃)	1
ヨビ	12
計	33L

館表示リスト		
排煙機 (運転)	1	
スプリンクラポンプ (〃)	1	
スプリンクラアーム	4	
消火栓ポンプ (運転)	1	
消火栓呼水槽 (異水)	1	
スプリンクラ呼水槽 (〃)	1	
消火水槽 (満水 減水)	2	
ヨビ	12	
計	23L	

ELVカンプ部は A と LED ×3

照明制御機器姿図

主操作盤



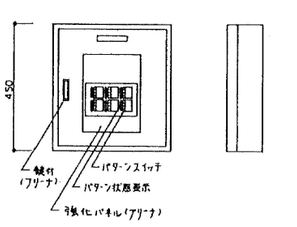
No	名称
1	負荷状態表示
2	個別スイッチ
3	照明パターンスイッチ
4	センサー動作表示
5	解錠スイッチブロック
6	タイマーブロック
7	週間スケジュールブロック
8	カードリーダー

仕様	
電源	AC 100V
信号入出力	± 24V (矩形波)
伝送信号	サイクリック時分割多重伝送
時計	水晶発振式
	曜日 時、分 デジタル表示

機能概要

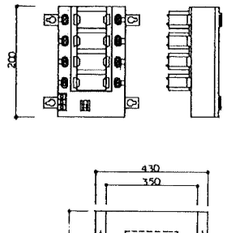
1 主操作盤 (160回路点滅 段調光型)	
• 一斉ON/解除スイッチ	全回路の強制ON及び解除と一斉に行う
• 個別操作スイッチ	回路別の強制ON及び強制OFFを行う (個別操作表示灯点灯)
• 個別操作解除スイッチ	一斉に個別操作解除を行う
• 照明パターンスイッチ	24パターンON/OFFを行う (パターン点灯は重複点灯可能)
• 1日のスケジュール設定	3種類設定できる
• 週間スケジュール設定	曜日ごとに1日のスケジュールを設定できる
• プログラム方式	カードインプット方式

副操作盤

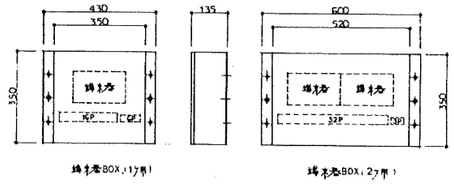


仕様	
電源	AC 100V
制御	24パターン制御
〃	主操作盤列にて優押し優先制御
〃	タイムスケジュール運転中 優押しパターン優先制御

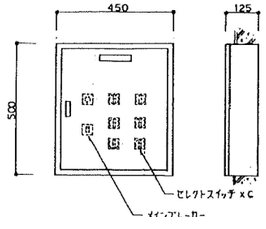
端末器



電源	AC 100V, 200V
信号入力	± 24V (矩形波)
制御	ON-OFF制御 4回路
適合負荷及び容量 (1回路当り)	FL (SNH GL) 15A 以下
	IL 8A 〃
	FL (GH) 台数及び容量により制限が異なる
	HID 〃

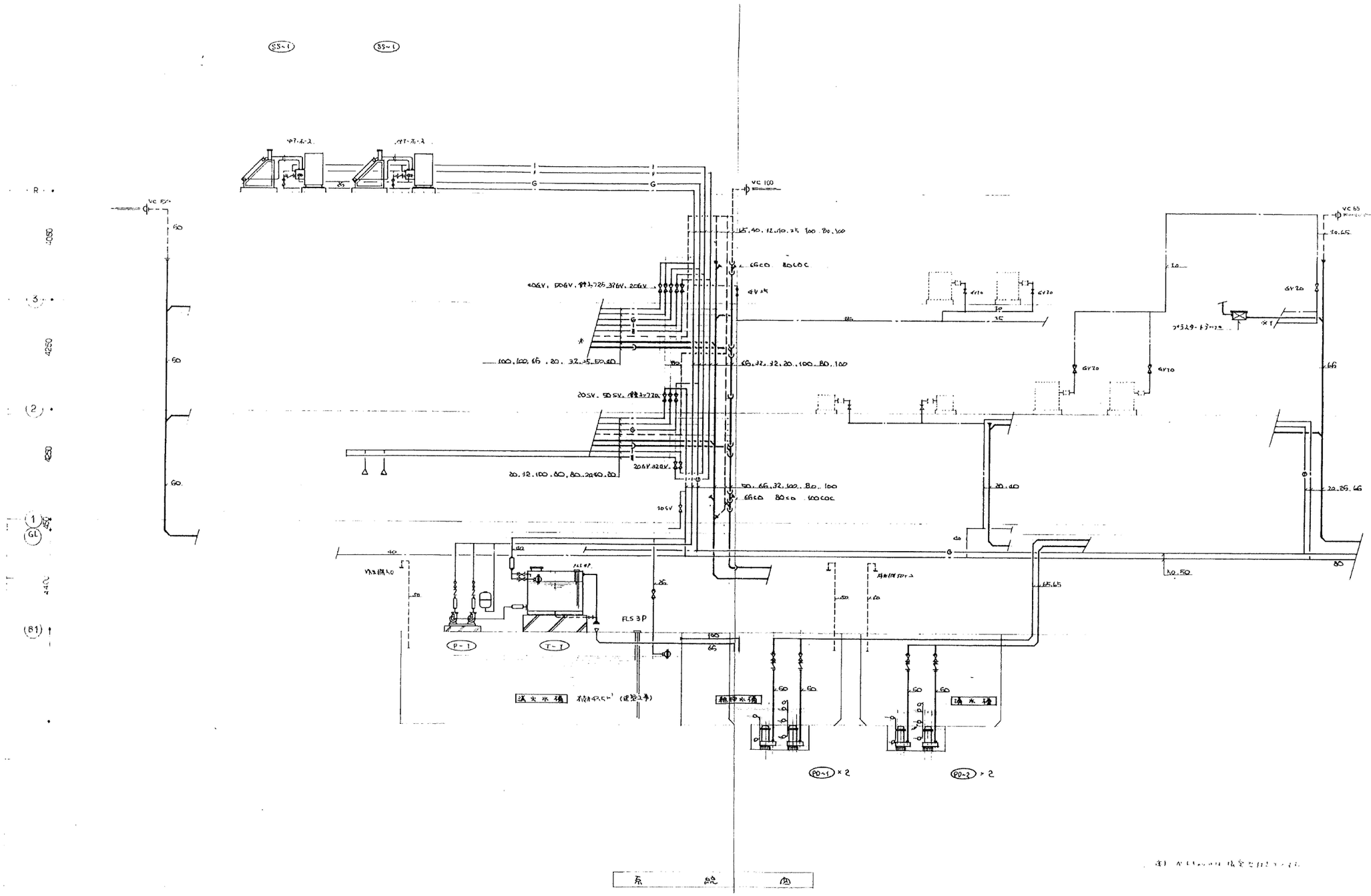


昇降装置操作盤姿図



豊山町社会教育センター

設備図(オ) 弱電設備姿図



豊山町社会教育センター

設備図(力)　給排水設備系統図

器具表

名称	記号	摘要
和風大便器	C 752 B	DT-750 DCF 752B-570F CF-115-1
〃		
洋風便器	C-445U	DT-511 DCF-445U-S111UF
〃	C-5K	DT-513 DTF-513F
小便器	U-206SM	UF-901 UF-206SMW.
〃	U-104U	UF-901ﾄﾗｯﾌﾟ UF-104BTF AY-68
洗面器	L-132G	LF-542P KF-148
〃	L-364AN	LF-12 LF-260K LF384-PA SF-45EAY LF-615K
壁掛水栓付洗面器	L-2584EC	LF-2584-350EP
〃	L-2394CD	LF-2394-230BGL
掃除用流し	S-200	LF-7K-19 SF-205F SF-10E(AY)
ｽﾃﾝﾚｽｸﾘｰﾝﾄﾗﾌﾟ		
鏡		480×672
ﾌﾟﾘｰﾄｶｳﾝﾀｰ		
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｶｳﾝﾀｰ		
自在水栓	LF-16F-13	13ﾐﾘ
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ水栓	LF-7R-13	13ﾐﾘ
止水栓	LF-3	
散水栓	LF-33-13	13ﾐﾘ B-3 Box共
湯水混合栓	SF-5420S	
ｼｬﾜｰｾｯﾄ	BF-205	
ｶﾞｽｺｯｸ	単口ｺｯｸ	ﾋｯﾄ1回
ｶﾞｽ機会湯沸器	4号ﾀｲﾌﾟ	ｶﾞｽ消費量 8000 kcal/h 最低作動水圧 0.03 kg/cm² 不完全燃焼防止装置付 ﾘﾓｺﾝ式
		自己診断ｺｰﾄﾞ表示付 強化ｶﾞﾗｽﾎﾟｰﾄ共

器具略号	屋外		B1階		1階											2階											3階						
名称 / 合計	車庫北	乗務員	機械室	女子便所	男子便所	身障者ﾄｲﾚ	湯沸室	倉庫	ｼｬﾜｰ室(1)	倉庫(2)	女子便所	男子便所	図書整理室			女子便所	男子便所	身障者ﾄｲﾚ	湯沸室	倉庫	検査和室	検査室(1)	倉庫(2)	湯沸室			水屋	機械整備室	設計ｺﾝｻﾙ	女子便所	男子便所	身障者ﾄｲﾚ	宴会室
9												2	2																			
17				4	2											5	1															
2																1	1															
3						1												1														
6					1							1					2															
14					3							2					6															
5											2	2														1						
3						1												1														
27				4	3											4	4												3	3		
3																					1	1	1									
3				1												1																
11				1	1	1					1	1				1	1	1											1	1	1		
3						1												1													1	
7																										7						
1																															1	
9						1	1					1						1	1			1				1					2	
1			1																													
5						1	1											1	1			1										
8	6	2																														
2																										2						
																											1					
4											2	2																				
13						1	1											1	1			1				1	7					
6						1	1											1	1			1										

凡例

記号	名称	使用材	備考
——	給水管	塩ビライニング鋼管	
—1—	給湯管(往)	銅 管(H)	
—II—	〃(還)	〃 (H)	
—S—	ソーラー管(往)	〃 (H)	
—SR—	〃(還)	〃 (H)	
—G—	都市ガス管	キーみこ管	
————	雑排水管	耐衝撃硬質塩ビ管	
- - - -	通気管	〃	
—C—	汚水管	排水用鋳鉄管	
——	屋外排水管	ヒューム管	
○	給水栓		
■	湯水栓		
●1	ガスコック		
⊘	床排水金物		
◍	床上掃除口		
⋈	バルブ	SV, GV	各通気管頂部より750以上突出すること
☒	排水桝	MHA, MHB	
⊠	汚水桝	〃	
═▭═	ついちょづみ桝	ステンレス製	

機器

記号	名称	型式	設置場所	台数	
T-1	受水槽	ﾊﾟﾈﾙ工	B1階機械室	1	FRP製
P-1	給水加圧装置	定圧自動給水	B1階機械室	2	床置
PD-1	排水水中ﾎﾟﾝﾌﾟ	水中ポンプ	B1階ピット内	2	雑排水用
PD-2	汚水水中ﾎﾟﾝﾌﾟ	水中ポンプ	B1階ピット内	2	汚水用
WC-1	ウォーターフィニッシュ式	ｶﾌﾟｾﾙﾀｲﾌﾟ	1階便所 2階ホワイエ	2	床置
SS-1	ソーラーユニット	給湯種一体型	屋上	2	集熱器 給湯槽 (補助熱源内蔵型)
P-01	屋内消火栓ポンプ	ユニット工型	B1階機械室	1	床置
P-02	スプリンクラーポンプ	ユニット工型	B1階機械室	1	床置

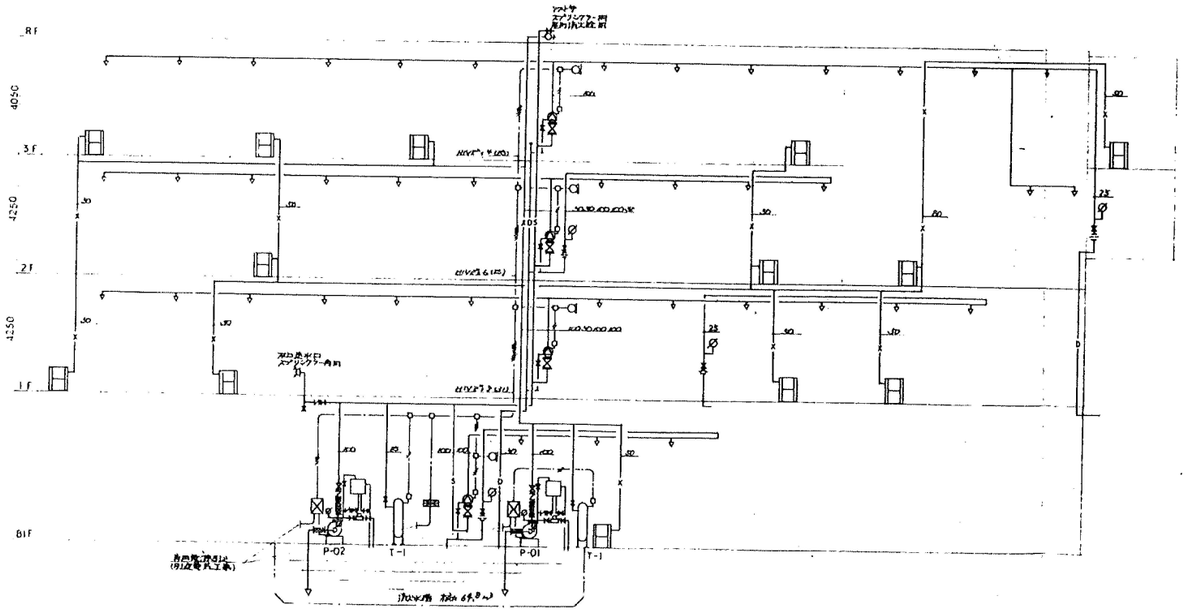
器具表

名称	仕様
FRP製受水槽	有効容量 4.0㎥ 総容量 5.2㎥ 寸法 1600×2000×2000H 脚数 3/3.6 飲用兼雑用 内部ライニング・マンホール(機械,機側) 警報・その他附属品一式
給水加圧装置	40φ×100ℓ/min×28M×2.2kW (3φ-200V) 自動交互並列運転型(MAX 200ℓ/min) 制御盤 自記記録紙1年巻 圧力センサー 圧力スイッチ 制御弁 均圧ポット その他附属品一式
排水水中ポンプ	50φ×100ℓ/min×10M×0.75kW (3φ-200V) 制御盤 自記記録紙1年巻 フロートスイッチ(満水警報含) 一式 自動交互並列運転型 (MAX 200ℓ/min)
汚水水中ポンプ	50φ×170ℓ/min×10M×0.75kW (3φ-200V) 制御盤 自記記録紙1年巻 フロートスイッチ(満水警報含) 一式 自動交互並列運転型 (MAX 240ℓ/min)
ウォーターフィニッシュ式	タンク容量 6ℓ 洗浄便器能力 18.1ℓ/h 外形寸法 340×382×1020H 1φ-100V 260W 自動洗浄回数 24回
ソーラーユニット	集熱器 平板形集熱器 ヨコブインシート形 有効集熱面積 1.91㎡×4枚 外形寸法 1002×2002×77 鉄骨架台共 給湯槽 給湯量 370ℓ 鋼板ガラスライニング処理(ガラスホーロー) 集熱ポンプ,給湯ポンプ,熱交換器 外形寸法 660×870×1853H 消費電力 集熱時 40W 補助熱源容量 80W 凍結防止ヒーター 120W インジケーター 補助熱源 貯湯槽式(内蔵)電気ヒーター式 定格電力 3kW 定格電圧 200V/1φ
屋内消火栓ポンプ	100φ×750ℓ/min×67M×55kW 1台起動 圧力タンク 100ℓ 呼水槽 圧力計,連成計 逃し弁 水量計 ラストラ制御盤 一式 ホース格納箱
スプリンクラーポンプ	100φ×900ℓ/min×61M×18.5kW 1台起動 圧力タンク 100ℓ 呼水槽 圧力計 連成計 逃し弁 流量計 フート弁 制御盤 一式

凡例

記号	名称	備考
○ ▽	スプリンクラーヘッド	ボルタ 72°C
Ø	バルブ 共	100A
⋈	仕切弁 共	JIS 10K
⋈	逆止弁 共	〃
⊣⊢	免震伸縮配管	
Ø	圧力計 受水槽	75φ
D	電きワイヤレン	DC 24V
≈≈≈	フレキシブル継手	SUS製

記号	名称	備考
▭	屋内消火栓	40A
▭	スプリンクラー受信盤	4L/10L
▭	ポンプ起動盤	ポンプユニット内蔵
T—1	圧力タンク	100ℓ
—S—	スプリンクラー配管	JIS G 3452
—X—	屋内消火栓配管	〃
—D—	排水管	〃



系統図

屋内消火栓計算書

ノズル数	吐量 (ℓ/min)	管径 (mm)	エルボ90° 個数	エルボ90° 計	チーズ分流	チーズ直進	仕切弁	逆止弁	消火栓弁	消火栓弁	地区弁	地区弁	ワンタッチ	ワンタッチ	継手相当管長 (m)	直管長 (m)	配管長 (m)	摩擦損失係数	摩擦水頭 (m)
1	130	40								1	7.0				7.0	0	7.0	0.07M	0.661
1	130	50	1	1.6 3.0											3.0	44.5	32.5	0.0293	1.538
2	260	65	1	2.0	1	4.1									6.1	17.0	23.1	0.0313	2.723
3	390	80	2	2.9 4.9	1	4.9									9.7	33.5	43.2	0.0294	1.271
4	520	100	1	3.2	1	6.3									9.5	17.0	26.5	0.0133	0.352
5	650	100	5	3.2 16.0	1	6.3	1	0.7	1	8.7			1	2.7	40.4	16.0	56.4	0.0251	1.134

全揚程	46.0 × 1.1 = 51 m	配管路分損揚程	5.7 m
揚水量	5口同時開 750 ℓ/min	放初圧力	17.0 m
水源	2.6 m³/口 × 5口 × 1.5 = 19.5 m³	実揚程	15.5 m
動力	$\frac{0.163 \times 0.75 \times 51 \times 1.1}{0.5}$ = 13.7 kW	ホース摩失	7.8 m
ポンプ仕様	P-01 100φ × 750 ℓ/min × 51 m × 15 kW	合計	46.0 m

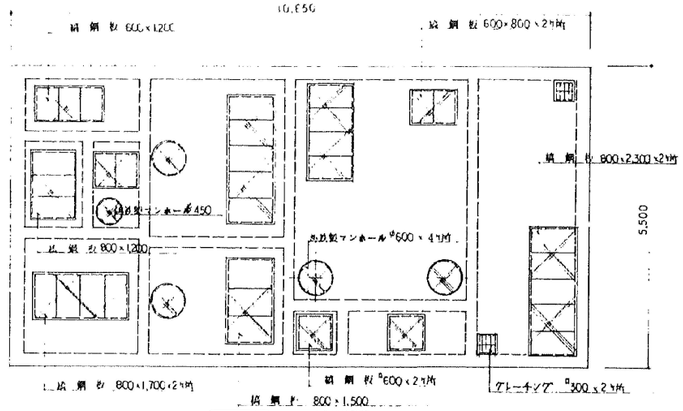
スプリンクラー計算書

ノズル数	吐量 (ℓ/min)	管径 (mm)	エルボ90°	エルボ分流	仕切弁	逆止弁	消火栓弁	消火栓弁	地区弁	地区弁	ワンタッチ	ワンタッチ	継手相当管長 (m)	直管長 (m)	配管長 (m)	摩擦損失係数	摩擦水頭 (m)
1	80	25	0.2 2.6										2.4	4.0	6.4	0.2936	1.815
2	110	25		1	1.7								1.7	2.5	4.2	1.0269	4.294
3	240	32		1	2.2								2.2	0.5	2.7	0.6191	1.669
4	320	40		1	2.6								2.5	3.0	5.5	0.4977	2.748
7	720	50		1	3.2								3.2	3.0	6.2	0.6351	4.310
10	800	65		1	4.1								4.1	3.5	7.6	0.4504	2.404
10	800	80											0	5.0	5.0	0.1020	0.340
10	800	100	4	0.2 44.8	1	0.7	1	8.7			1	8.7	62.9	35.5	138.4	0.0296	4.097

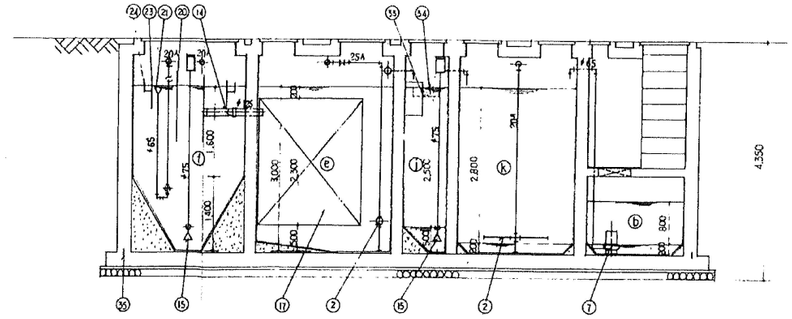
全揚程	34.9 × 1.1 = 41 m	配管路分損揚程	21.9 m
揚水量	10口同時開 900 ℓ/min	放初圧力	10.0 m
水源	1.2 m³/口 × 10口 × 1.5 = 24 m³	実揚程	18.0 m
動力	$\frac{0.163 \times 0.9 \times 41 \times 1.1}{0.55}$ = 17.3 kW	アラーム分損失	5.0 m
ポンプ仕様	P-02 100φ × 900 ℓ/min × 41 m × 18.5 kW	合計	54.9 m

豊山町社会教育センター

設備図(ク) 消火設備系統図

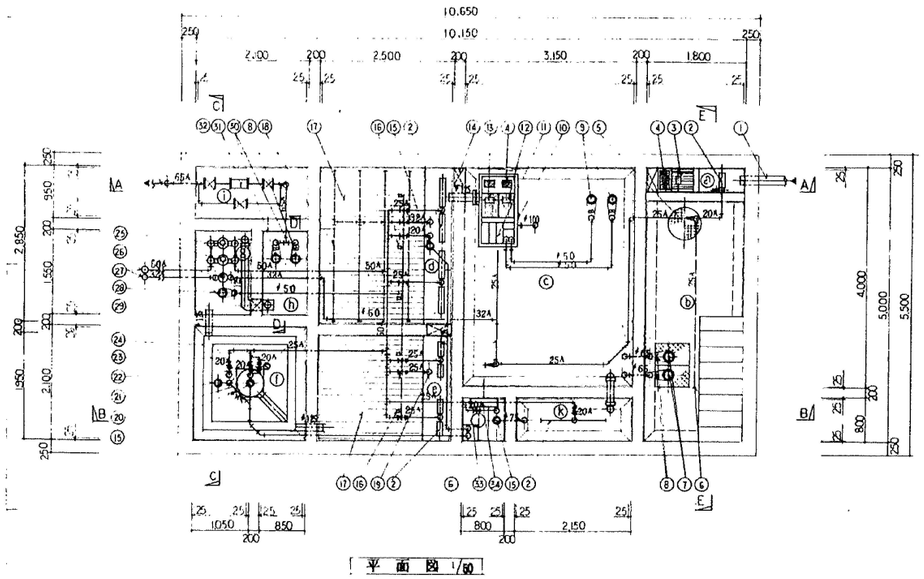


上部平面図 1/60

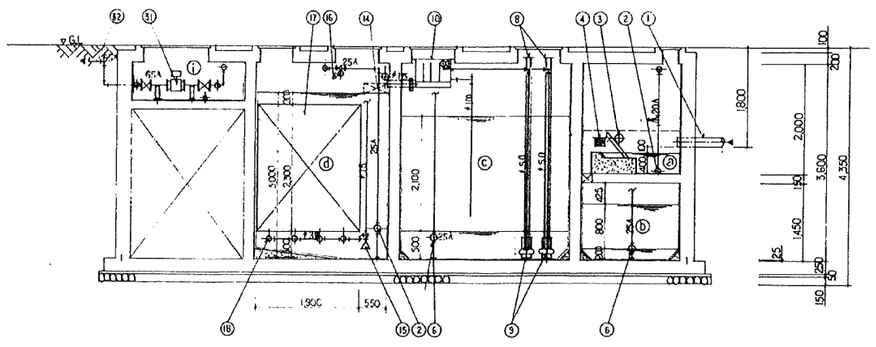


B-B断面図 1/60

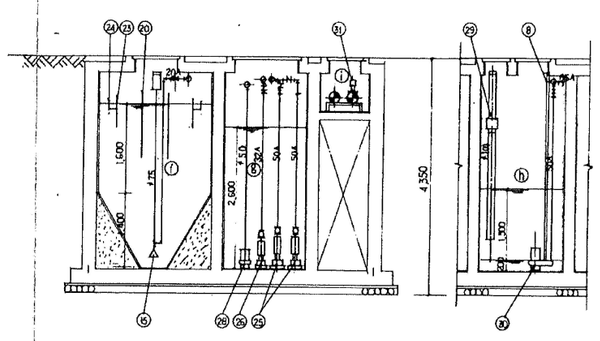
流入日平均汚水量	50 M³/D
処理対象人員	660 人槽
処理方式	接触ばっ気方式
建設省告示1292号第 3 の 2	
流入水水質 BOD	200 mg/ℓ
COD	150 mg/ℓ
S S	250 mg/ℓ
放流水水質 BOD	30 mg/ℓ
COD	40 mg/ℓ
S S	50 mg/ℓ
P H	5.8 ～ 8.6
処理対象人員 3000人以下	



平面図 1/50

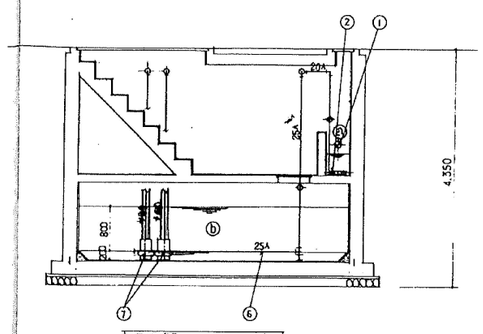


A-A断面図 1/50



C-C断面図 1/50

D-D断面図 1/50



E-E断面図 1/50

記号	名称
ⓐ	砂ダマリ
ⓑ	汚泥ポンプ槽
ⓒ	流量調整槽
ⓓ	接触曝気槽
ⓔ	接触曝気槽
ⓕ	沈殿槽
ⓖ	水中ブロワー槽
ⓗ	消毒槽兼放流ポンプ槽
ⓘ	地震計ピット
ⓙ	汚泥濃縮槽
ⓚ	汚泥貯留槽

記号	名称
①	流入管
②	散気装置
③	荒目スクリーン
④	スクリーンバケット
⑤	鋳鉄製マンホール
⑥	広範囲散気装置
⑦	流入ポンプ
⑧	ガイドパイプ
⑨	調整ポンプ
⑩	スクリーンユニット
⑪	防震調整弁
⑫	バイパススクリーン
⑬	微細目スクリーン
⑭	移流口・移流管
⑮	エアーリフトポンプ
⑯	消泡ノズル
⑰	接触材
⑱	逆洗装置
⑲	逃がし弁
⑳	センターウェル
㉑	スカム返送装置
㉒	堰 樋 井
㉓	スカム止メバッフル板
㉔	越流堰
㉕	曝気ブロアー
㉖	予備ブロアー
㉗	吸込サイレンサー
㉘	消泡ポンプ
㉙	消毒装置
㉚	放流ポンプ
Ⓚ	警報装置
㉜	放流管
㉝	整流板
㉞	越流堰
㉟	仕水板

特記事項
- マンホール ハ A 型トスル。
- 鉄蓋及び底蓋ハ6mm縞鋼板トスル。
- 槽内ハモルタル防水仕上トスル。(25㎜)
- 流入放流配管ハ梅ヤ 0.5m迄トスル。
- 50Aハ VP(白) 100ハ VP トスル。

豊山町社会教育センター

設備図(ケ) 浄化槽設備図

（３）現況調査結果及び分析

施設の評価・分析にあたっては、劣化状況に応じてＡ～Ｄの４段階の評価を下表評価基準により行います。

評価	評価基準
A	・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要は無いため日常の維持保全で管理するもの。
B	・部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要は無いが維持保全の中で劣化部分の定期的な観察が必要なもの。
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには早急に部分的な補修もしくは更新が必要なもの。
D	・全体的に顕著な劣化がある。 ・重大な事故につながる恐れがあり、緊急の補修もしくは更新が必要なもの。

ア　躯体

（ア）コンクリートコア抜き取り調査（評価Ｂ）

地下倉庫壁、地下エレベーター機械室壁、１階北器具庫壁の３か所のコンクリートコアを採取し圧縮強度試験及び中性化試験を行いました。

圧縮強度試験の平均値は３７．５N／mm2 となり、圧縮強度は設計基準強度の２１N／mm2 を超えており問題ありません。

中性化試験では平均値２４．０mm となり、規準のかぶり厚３０mm 未満を満足していますが、３試料のうち１か所において３７．０mm を示し中性化が進んでいる場所も見られました。したがって、これ以上進行しないよう何らかの対策が必要となります。（中性化が進むと鉄筋の腐食の恐れがあります。）



コア採取



中性化試験

（イ）コンクリート躯体はつりによる鉄筋かぶり厚・腐食度調査（評価Ａ）

屋内外３か所の鉄筋コンクリート柱を選定し、かぶりコンクリートを１５０㎜角程度はつり取り、主筋および帯筋を露出させ、かぶり厚さ及び鉄筋の径・腐食状況を調査しました。

結果は設計図書通りの配筋、かぶり厚さが確認でき問題ありません。



壁はつり



鉄筋調査

イ　外装・屋上防水

（ア）外装

平成３０年度、令和元年度に下記の内容で外壁塗装改修が行われており、現状では問題ありません。

平成２０年の建築基準法改正により、タイル張りの外壁（落下により歩行者等に危害を加えるおそれのある部分）については、１０年毎に全面打診調査が義務付けられました。

部位	改修工法	評価
タイル面	透明アクリル樹脂エマルション雨水侵入防止工法	A
コンクリート打放し塗装面	可とう形改修塗材Ｅ塗り	A
建具廻り、タイル目地	シーリング打替え	A
鉄面	耐候性塗料塗り	A





（イ）屋上防水

平成３０年度に下記の内容で屋上防水改修が行われており、現状では問題ありません。

今後は定期的な点検、補修により防水性能の維持が期待できます。

また外周立上りのパラペット笠木はアルミ製で健全な状況でした。

部位	下地	改修工法	評価
陸屋根	コンクリート	ウレタン塗膜防水	A
ホワイエ三角屋根	金属瓦棒葺き	加硫ゴムシート防水	A
アリーナ折版屋根	金属折版葺き	加硫ゴムシート防水	A
３階バルコニー	コンクリート	ウレタン塗膜防水	A
玄関庇	コンクリート	シート防水	A



ウレタン塗膜防水



加硫ゴムシート防水

防水層以外では、鋼製の空調機架台の発錆やトップライトガラスの破損が確認されました。（評価Ｃ）

これについては鉄部の塗装、ガラスの取替え等早急な対応が必要です。



空調機架台の錆



トップライトガラス破損

ウ　普通施設

（ア）事務室

事務室内装は建設当時のままであり、経年劣化による汚れ、壁クロスの破れ等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート 休憩室：たたみ	汚れ、経年劣化 日焼け	B B
壁	コンクリート打放し　クロス	汚れ、剥離	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板 休憩室：化粧石膏ボード	空調改修により継ぎ接ぎ 経年劣化	B B
その他	照明器具	蛍光灯 休憩室カバーなし	C C



事務室内装



壁ひび割れ、クロス剥離



休憩室天井　照明器具カバーなし



湯沸室　流し台等劣化



休憩室　たたみ日焼け

（イ）応接室

応接室内装は、床を除き建設当時のままであり、経年劣化による汚れ、壁の水浸み跡等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　カーペット	健全	A
壁	石膏ボード下地　クロス	経年劣化、水浸み	B
天井	軽鉄下地　石膏ボードの上クロス	経年劣化	B
その他	照明器具	蛍光灯	C



カーペットは健全



壁・天井クロスに水浸み跡あり

（ウ）研修室１・２

研修室内装は、平成１２年に壁クロス及び天井岩綿吸音板の張替えが行われています。既に２０年近くが経ち、その他の部分も合わせて経年劣化による汚れ等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート 研修室２：ＯＡフロア	汚れ、経年劣化	B
壁	コンクリート打放し　クロス	汚れ、継目剥離	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	空調改修により継ぎ接ぎ	B
その他	照明器具	蛍光灯	C



研修室１　内装



研修室１　湯沸室



研修室２　内装



研修室２　OA フロア

（エ）選手審判控室

選手審判控室の半分は、可動間仕切で区画し、文化協会の事務室として使用しています。

内装は建設当時のままで、経年劣化による汚れ等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート	汚れ、経年劣化	B
壁	コンクリート打放し　クロス	汚れ、継目浮き	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	経年劣化	B
その他	照明器具 会議用拡声設備	蛍光灯 老朽	C B



一部を可動間仕切で区画



壁クロス継目の浮きあり

（オ）実習室

実習室内装は建設当時のままで、経年劣化による汚れ、壁ひび割れ等が見られ、改修が必要となっています。

木製作業台は機能上問題なく使用できる状態です。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート	汚れ、経年劣化	B
	一部磁器モザイクタイル	目地汚れ	B
壁	コンクリート打放し　吹付タイル	汚れ、ひび割れ	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	空調改修により継ぎ接ぎ	B
その他	照明器具	蛍光灯	C
	避難器具	収納箱錆、汚れ	C
	人研流し	ひび割れ	B



実習室内装



壁にひび割れ



人研流しにひび割れ



避難器具収納箱錆、表示汚れ

（カ）男女更衣室

男女更衣室内装は建設当時のままで、経年劣化による汚れ、ビニル床材の剥離等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート シャワー室：磁器モザイクタイル	汚れ、剥離 健全	C A
壁	コンクリート打放し　吹付タイル シャワー室：陶器質タイル	汚れ、浸み 補修跡	B B
天井	軽鉄下地　ケイカル板　塗装	汚れ、経年劣化	B
その他	照明器具 シャワーカーテン	蛍光灯 健全	C A

シャワー室はカーテンのみで区画され、脱衣スペースが設けられていません。

シャワー室には脱衣スペースの確保が必要です。



更衣室(2)　床材剥離・壁汚れ



更衣室(1)　床材剥離・壁汚れ



シャワー室（脱衣スペースはオープン）

（キ）ミーティングルーム

当初ミーティングルームとして整備した部屋を現在は体育協会事務室として使用しています。また、文化協会は、選手審判員控室の半分を可動間仕切で区画し文化協会の事務室として使用しています。現状、黒板等の不要な備品もあり、什器配置も無理なレイアウトのまま使用しています。

内装は建設当時のままで、経年劣化による汚れ、壁クロスの剥離等が見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート	汚れ、経年劣化	B
壁	コンクリート打放し　クロス	汚れ、剥離	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	経年劣化	B
その他	照明器具 黒板、黒板灯	蛍光灯 不要	C B



壁クロスの汚れ、扉周囲剥離



建設当時からの黒板と黒板灯

（ク）遊戯室

遊戯室は平成１２年度の改修工事で東側に一部増築しています。

壁面は乳幼児の軽運動に対応した、やわらかい素材が使用されており、現状、特に目立った劣化は見られません。

扉、窓は網入りガラスとなっています。安全のため飛散防止フィルム貼り又は安全ガラスへの取替えが望ましいと考えます。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	木床組の上　スポーツフロア	健全	A
壁	石膏ボード下地　クロス 腰壁：クッション材　H=1,800	健全 健全	A
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	健全	A
その他	照明器具 ガラス	蛍光灯 網入りガラス	C C



腰壁クッション材



網入りガラス

エ　特別施設

（ア）アリーナ

a　内装

アリーナ床の使用に伴う傷み等は、その都度部分的な補修を行い対応していますが、全面の整備は行われていないことから、経年の劣化による汚れが目立ちます。また、コートラインもルール改正や剥がれにより不適切な状況となっており、改修が必要となっています。

壁面は、体・ボール等の当たった衝撃により、壁合板の破損や縦樋周囲の合板腐食等が見られ、改修が必要となっています。

天井は、屋根折版あらわしの下にワイヤメッシュパネルが設置され、雨音が気になります。加えて現在の建築基準法における「特定天井」に該当することから、落下防止策等の対応が必要となっています。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	鋼製床組　フローリング	塗装剥離	C
	コートライン	剥離	C
壁	合板（一部有孔合板）　塗装	一部破損、腐食	C
	コンクリート打放し　塗装	健全	A
天井	スチールワイヤメッシュパネル	特定天井対策なし	C
	折版あらわし	健全	A
その他	カーテン	平成３０年取替え	A



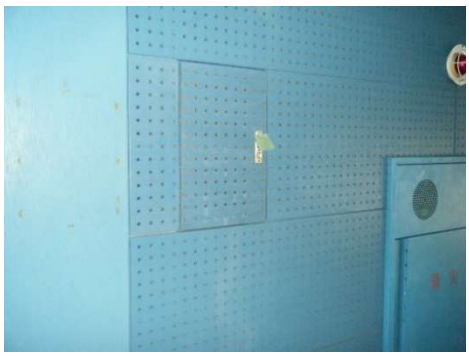
床フローリング



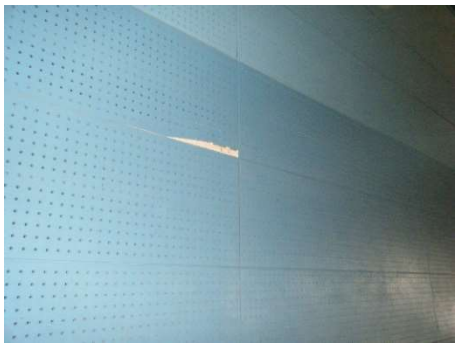
壁有孔合板



コートラインの剥離



建具金物の破損



壁合板の破損



縦樋周囲合板腐食（結露水による）



天井ワイヤーメッシュパネル



上部壁コンクリート打放し　塗装

b　照明設備

アリーナの主照明設備は水銀灯、点検・管理用として蛍光灯という構成となっています。天井ワイヤーメッシュ内に取付けられ、キャットウォークより球替えが可能となっています。

照明器具が水銀灯と蛍光灯器具であることから、近い将来、電球の供給が困難となります。



水銀灯照明器具



天井内照明

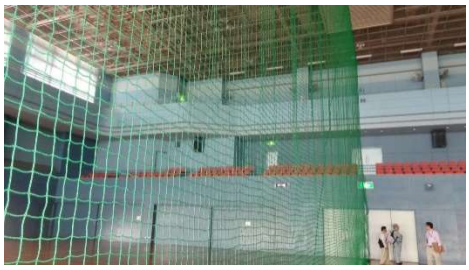
c　運動設備

アリーナに付属する運動設備は、各競技支柱ポール用基礎金具、可動式の防球ネット、天井吊バスケットゴール等があります。

バスケットゴールは当初からの大型天井吊式で、リモコン操作により上下するものです。

利用者の安全対策上、落下防止策が必要となっています。

部位	仕上	状況	評価
支柱金具	コンクリート基礎　金属製蓋	がたつき	B
防球ネット	ポリエチレン	健全	A
バスケットゴール	天井吊	落下防止対策なし	C



防球ネット　支障なし



天井吊りバスケットゴール（4 か所）

d　音響・放送設備

アリーナ音響・放送設備は当初からのもので３０年以上経過しています。

アナログ対応の設備ですが、使用頻度が少ないことから現状使用時の不具合は見られません。古い設備のため、今後、各機器・配線・接続部の不具合が発生した場合、対応が困難となる恐れがあります。



アリーナ内　放送設備



アリーナ内　スピーカー

（イ）ホール

a　内装

ホール内装は、経年の劣化による汚れ、傷みがあり改修が必要となっています。

天井は建築基準法の「特定天井」に該当することから、落下防止策等の対応が必要となっています。

設備としてホール室内に３３６席の移動式観客席が整備されています。３０年以上経過し、座席の傷み、動作部の部品の劣化が見られることから、更新または大規模な改修が必要となっています。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　フローリング	汚れ、キズ	B
	舞台：木床組　縁甲板張り	汚れ、キズ	B
壁	軽鉄下地　石膏ボード　塗装	汚れ、経年劣化	B
	舞台：コンクリート打放し	表面上は健全	A
天井	軽鉄下地　ケイカル板　塗装	特定天井対策なし	C
	舞台：コンクリート打放し	表面上は健全	A
その他	移動観客席	経年劣化	C



移動観客席（収納状態）



舞台内装



ホール壁　出入口



ホール　後部通路

b　照明設備

ホールの照明設備は水銀灯、ハロゲン灯、白熱灯、蛍光灯という構成で、使

用用途により使い分けされています。

照明器具のうち水銀灯・蛍光灯は電球の供給が困難となります。



ホール照明器具



舞台上部照明器具

c　音響・放送設備

ホール音響・放送設備は当初からのもので３０年以上経過しています。アナログ対応の設備のままで、一部機器は使用不能となっています。機器更新もしくは大規模改修が必要となっています。



映写室　音響・照明機器



映写室　音響機器

d　舞台装置・舞台照明設備

舞台装置（舞台吊物・幕の制御機構）は当初からのもので３０年以上経過しています。

舞台装置を安全に供用するためには耐用年数を超過した各部品の更新が必要となっています。

舞台照明設備も設置から３０年以上経過し、従来方式のハロゲンランプ中心の設備であり、消費電力も大きく演出性も低いものとなっています。その制御機器も老朽化しており安全対策として改修が必要となっています。



舞台装置制御盤



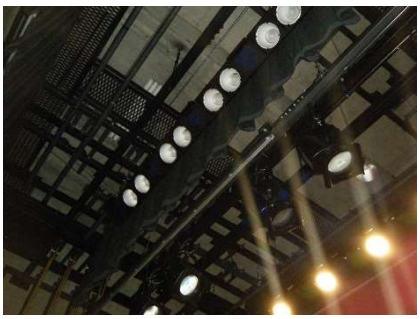
舞台袖バトン



舞台装置駆動部



ぶどう棚上ワイヤー



舞台照明

e　控室

控室内装は、経年の劣化による汚れ、傷みがあり改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	洋室：木床組　合板の上ビニル床シート	汚れ、経年劣化	B
	和室：木床組　合板の上畳敷き	汚れ、経年劣化	B
壁	石膏ボード下地　クロス	汚れ	B
天井	洋室：軽鉄下地　石膏ボードクロス	経年劣化	B
	和室：軽鉄下地　化粧石膏ボード	経年劣化	B
その他	照明器具	蛍光灯	C
	化粧カウンター	健全	A
	鏡	健全	A



控室（洋室）



控室（和室）

（ウ）和室・茶室

和室・茶室内装は、経年の劣化による汚れ、傷みがあり改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	和室、茶室：木床組　合板の上畳敷き	日焼け	B
	舞台：木床組　縁甲板張り	汚れ、経年劣化	B
	踏込：シンクロタイル	健全	A
壁	石膏ボード下地　クロス	汚れ	B
天井	和室、茶室：軽鉄下地　ラミネート天井	浸み、経年劣化	B
	舞台：軽鉄下地　石膏ボードの上クロス	経年劣化	B
	踏込：軽鉄下地　ケイカル板の上クロス	経年劣化	B
その他	照明器具	蛍光灯	C
	音響設備	老朽	C



和室　たたみ日焼け



茶室　入口



窓廻り　雨浸み跡



窓廻り　額縁塗装剥離

（エ）図書室

図書室は平成１２年に北側に一部増改築工事、平成２７年にカーペットの張替えが行われています。

内装は経年劣化による汚れは見られますが、全体的には良好な状態といえます。

図書事務室についても特に問題ありません。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　タイルカーペット	汚れ	B
壁	モルタル　寒冷紗の上　塗装	汚れ	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	健全	A
その他	照明器具 ミニキッチン	蛍光灯 汚れ	C B



図書室　内装



図書室　カウンター



図書室入口　手動ドア



図書室のキッズコーナーと学習室



図書事務室　内装



図書事務室　ミニキッチン

図書室閉架書庫は、内部の移動書架棚が満杯であり、図書資料の保管庫としての拡充が必要となっています。

内装は、壁面にクラック、雨染みが見られ、改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。





閉架書庫の状況

（オ）料理教室

料理教室内装は建設当時のままで、経年劣化による汚れ、壁ひび割れ、クロスの剥がれ等が見られ、改修が必要となっています。

室内の調理台はガスレンジ・ガスオーブンが組み込まれた豪華な設備となっています。機器の修理に伴い、一部の調理台が使いにくくなっています。維持管理の面から、単純な機能の調理台とする必要があります。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　ビニル床シート	汚れ、経年劣化	B
壁	ケイカル板下地　クロス	汚れ、剥離	B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板	空調改修により継ぎ接ぎ	B
その他	照明器具 調理台	蛍光灯 表面材劣化	C C



料理教室　内装



壁クロス継目剥離　天井材新旧継ぎ接ぎ



電子レンジは窓側に別置



ガスオーブン組込み調理台

（カ）視聴覚室

視聴覚室の内装は経年劣化による汚れ等は見られますが、全体的には良好な状態といえます。

視聴覚機器の設備は当初のもので、ほとんどが不調となっています。

令和元年度に室内で利用する視聴覚機器を導入してありますが、本格的な視聴覚室とするためには、機器の充実と改修が必要となっています。

照明器具は蛍光灯器具であり、近い将来、電球の供給が困難となります。

内装仕上げ、劣化状況等は下表のとおりです。

部位	仕上	状況	評価
床	モルタル下地　カーペット 映写室：木床組　合板の上　ビニル床シート	健全 汚れ	A B
壁	木下地　有孔合板　塗装 映写室：軽鉄下地　有孔ケイカル板　塗装	汚れ 汚れ	A B
天井	軽鉄下地　岩綿吸音板 映写室：軽鉄下地　有孔ケイカル板　塗装	空調改修により継ぎ接ぎ	B B
その他	照明器具 音響・映像機器	蛍光灯 老朽	C C





視聴覚室　内装